

EKIDEN

TEIKYO UNIV. SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2019

TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2019 EKIDEN



東京箱根間往復

箱根駅伝
 出場20回
 記念号





「自分流で超える」

ランナーとして、速さを追求するとともに、
どんな困難にも立ち向かうことができる、強い心を養うこと。
それが“本当に強い選手”になるための条件だ。

自ら考え、自分なりの正解を模索しよう。
失敗にくじけることなく、チャレンジを続けよう。
それが、これまでの自分を超える契機となるから――。

帝京大学駅伝競走部 イヤーズブック発刊に寄せて

学校法人帝京大学 理事長
帝京大学 学長

冲永 佳史

本学では、指定強化部の活躍が目立っておりますが、スポーツの強化というのは日々の積み重ねの結果です。強化に向けたあらゆる努力を地道に続けてきたからこそ、めざましい実績につながっているのです。

しかしながら、目立つことが目的になってはいけなさと考えております。大学スポーツはプロスポーツと異なり、あくまでも教育機関が行っている活動であります。各練習施設やトレーニング施設の拡充はもちろん、競技力向上のためのトレーニング方法や食の管理、けがの際の適切な治療などを施す、大学に付設するスポーツ医学センターや接骨院のバックアップ体制など、すべてが学生の育成を目的としています。

よって、指定強化部で活動している学生につきましては、これら本学における支援体制を存分に活用し、さまざまな経験を積んで社会の中で活躍できる人材へと成長していただけることを期待しております。

帝京大学 八王子キャンパス 学生サポートセンター・グループリーダー
強化クラブ室 室長

宮澤 靖治

年初に行われる東京箱根間往復大学駅伝競走において、節目となる20回目の出場を果たした帝京大学駅伝競走部は、代々引き継がれたたすきをOBとその保護者、チーム関係者が守り続け、ここまでの道のりを築きあげました。そのような方々の支えを軸に、駅伝競走部は最先端の機能を取り入れた陸上競技場が完成し、部を取り巻く練習環境はますます充実が図られ、以前よりレベルを上げたトレーニングに勤しんでおります。

近年、各大学が積極的に戦力強化に励んでいる駅伝競技において、昨季は出雲全日本大学選抜駅伝競走・全日本大学駅伝対校選手権大会・東京箱根間往復大学駅伝競走すべての大会で第5位となり、チーム初となる三大駅伝競技会の全シード権を獲得し、今年は例年のないアドバンテージを最大限活用しながらの年となります。

年々選手層が厚くなっていることを感じておりますが、「育成の帝京大学」と陸上関係者から一目置かれる中野監督の指導の下、走力・チーム力ともに高め上位入賞を期待したいと思います。

三大駅伝競技会での選手たちの躍進を祈念し、イヤーズブックの挨拶とさせていただきます。





特集1

「育成の帝京」

高校時代に目立った実績のない選手たちが
帝京大学で過ごす四年間で才能を開花させていく——。
「育成の帝京」と称されるゆえんだ。

なぜ、帝京大学で人は育つのか。
監督やコーチ、選手たちの言葉から紐解いていく。

CONTENTS

4 発刊に寄せて 6 CONTENTS

7 特集1 「育成の帝京」



- 8 インタビュー「自分流に強くなれ」
帝京大学駅伝競走部 監督 中野 孝行
- 10 座談会「最高学年の自覚」
主将・岩佐 孝誠、副主将・田村 丈哉、寮長・島貫 温太
- 12 座談会「主力の決意」
谷村 龍生、鳥飼 悠生、山根 昂希、中村 風馬
- 14 対談「大学3大駅伝の展望」
主務 山崎 隼輝、副主務 森 一平
- 15 サポートスタッフ紹介
- 16 PHOTO GALLERY
- 20 PLAYERS LIST
- 24 帝京大学駅伝競走部 合宿所紹介
- 26 帝京大学スポーツ医科学センター紹介
- 28 陸上競技場紹介
- 29 TOPICS 年間スケジュール OBの主な就職先
- 30 2018年後半～2019年前半の主な大会記録

31 特集2 「箱根駅伝の軌跡」



- 32 数字でわかる箱根駅伝の軌跡
- 34 OB座談会「雑草集団の系譜」
- 36 箱根駅伝の軌跡（1997年度～2018年度）
- 48 歴代記録 箱根駅伝
- 50 歴代記録 全日本大学駅伝
- 52 歴代記録 出雲駅伝
- 53 歴代記録 主な国内大会 国際大会
- 54 帝京大学 歴代50傑

自分流に強くなれ

INTERVIEW

帝京大学駅伝競走部 監督

中野 孝行

駅伝という競技を通して、困難に立ち向かい、それを自ら乗り越える力を育てる。「日本一あきらめの悪い指導者でありたい」と語る中野監督に、指導にかける思いを聞いた。

撮影=志賀 由佳、取材・文=笹原 風花



窮地を乗り越える力を養う

「ルールを敷くと、指導者も選手も楽なんです。選手の自主性を尊重する“コーチング”タイプの指導で知られ、またそれを自負する中野監督だが、かつて女子実業団の監督を務めていた頃は、練習方針やメニューを細かく決める“ティーチング”タイプの指導者だった。こう言葉

を続ける。「そうすると選手の成長が読めるし、想定外の失敗も少ない。でも、まあこれくらいだろうと僕が勝手に決めることで、選手の可能性を狭めてしまうこともあると気づいたのです。それからはやり方を変えました。選手が自らやってみたいと言ったことは、基



本的にやらせません。どうすれば目標に到達できるのか、選手は自らやり方を考え、自らチャレンジする。僕は“じゃあやってみよう”と背中を押すだけなんです」

そう話す中野監督には、「致命傷にならない程度の失敗は必要」という信条がある。ときには、選手にあえて失敗を経験させることもあるほどだ。

「痛い目にあうことはすごく大事。レースでも人生でも、重要なのは失敗からどう盛り返すか。ポジティブに考えれば、成功するまであきらめない限り、失敗にはなりません。たとえレースで転倒しても、気持ちを切り替えて落ち着いて走り続け、最終的に良い結果を出せば、転んだことは失敗ではない。窮地を自力で乗り越える力は、やはり失敗しないと身につかないと思います」

失敗をとがめない反面、うまくいったときに褒めることもあまりない。冗談半分とはいえ、「お前の実力はこんなものか？」と選手の気持ちを煽るような言葉をかけることもある。「選手が言うてほしいと思ってることを言うのではなく、選手に学んでほしいことを言うようにしている。それが監督としての私の流儀」と中野監督は語る。

箱根優勝を本気で狙う

そんな中野監督だが、前回の箱根駅伝の総合順位5位という結果については、選手の努力を大いに称える。

「かつて歴代最高順位の4位を獲得した年は、ラッキーな部分もあって、手放しでは喜べませんでした。でも、前回の5位は、選手たちが努力と実力でつかみ獲ったもの。偶然ではなく必然と言える結果で、本番で力を発揮してくれたことが嬉しかったですね」

実は箱根駅伝の直前、帝京大学はチーム状態が良かったことから、活躍を期待されていた。「選手たちは高い評価に踊らされることなく、浮つくこともなく、愚直に努力を重ねた。その姿に成長を感じた」と、中野監督は誇らしげに語る。

今、箱根駅伝は、史上稀に見るハイレベルな争いになっている。そこで勝つのは、「大きなミスをしたくないチーム」と中野監督は言う。そして、帝京大学もまた、そんなチームをめざしている。「帝京大学の武器は、安定感です。どんなレースでも実力を発揮できるよう、再現性を高めるためには、ただひたすら練習するしかない。日々の練習の繰り返しの中で、小さなほころびを一つずつなくしていく、時間

をかけて完成させていける選手が、強くなるのです」

帝京大学は2019年度、箱根駅伝で優勝を狙っている。その気合いの入りようは、例年をはるかに上回る。選手はもちろんだ、中野監督も、コーチも、スタッフも、一丸となっているのだ。箱根駅伝を語る中野監督の眼差しは、いつになく鋭い。

「箱根駅伝がすべてではありませんが、やはり箱根駅伝を目標に帝京大学に入学した選手たちには報われてほしいという思いはあります。そこに至る道のりは、辛いこと、苦しいことが多いかもしれないけれど、卒業した後振り返って、箱根駅伝をめざしたことに誇りを持てるような4年間を送ってほしいと思うし、それができたら監督冥利に尽きますね」

『育成の帝京』の真意

帝京大学は長く「育成の帝京」と呼ばれてきた。たとえ高校時代に目立った実績がなくても、帝京大学で過ごす4年間で飛躍する選手が多いからだ。しかし中野監督は「私が育成しているわけではありません」と断言する。

「私が育てているのではなく、選手自ら育っているのです。帝京大学には“ここに入れば強くなりますね”といった、あま

に近い気持ちをもった選手はいません。自ら考え、自分流に強くなり、かつ帝京大学の歴史を変えてやるといった、強い選手の集まりなのです」

奇しくも中野監督に取材を行った4月24日は、高橋尚子さんや有森裕子さんといった、オリンピックや世界選手権のメダリストを輩出した、小出義雄監督逝去の報が流れた。生前、師事していた中野監督は、その偉大な実績を改めて称えるとともに、最後にこう語った。「小出監督は、僕が心から尊敬する指導者の一人です。これから、小出監督のようなパッションのある指導者であり続けたいですね」



Profile

なかの たかゆき

1963年生まれ。北海道出身。帝京大学スポーツ医学センター専任講師。国士館大学で箱根駅伝に4年連続出場。卒業後は、雪印乳業に入社して、選手として活躍。引退後に三田工業女子陸上競技部コーチ、特別支援学校の教員、NEC陸上競技部のコーチを務める。2005年に帝京大学駅伝競走部の監督に就任。現在に至る。著書に『自分流駅伝・帝京大の育成力』（ベースボール・マガジン社）。



中野孝行監督、初の著書 『自分流 駅伝・帝京大の育成力』

高校時代に目立った実績を残していない選手を、帝京大学の4年間で育て上げる「育成の帝京」の指導方法を紹介。中野監督流の選手とのコミュニケーション術や箱根駅伝における采配など、著者の駅伝にかける思いが詰まった一冊。

ベースボール・マガジン社 1,500円+税

「最高学年の自覚」

主将 岩佐 孝誠 × 副主将 田村 文哉 × 寮長 島貫 温太



箱根駅伝で総合優勝をめざし、チームをけん引する四年生。その中心メンバーである主将、副主将、寮長の三人が、今年度のチーム状態や新たな取り組み、掲げる目標などについて語り合った。

撮影=志賀 由佳、取材・文=笹原 風花



主将・岩佐 孝誠

選手主導で屋敷改善の取り組みをスタート

岩佐 僕らの学年はこれまであまり学年ミーティングをしてこなかったけど、四年になって集まる回数が増えたよね。最高学年としての自覚が生まれたというか、しっかりとってきたと思う。

田村 チームの改善点などを、みんなで率直に話し合えるようになった。この三人で話し合うことも増えたね。

島貫 僕たちの代になってから始めた取り組みとしては、屋敷の改善が一番大きいかな。

岩佐 中野監督と管理栄養士の葛西先生と話をするなかで、帝京の強みの一つである栄養サポートをより有意義に使おうということ、自主的に始めた。

島貫 屋敷を各自でとる日はパラソクが乱れがちだったから、そこをセルフコントロールできるようにしようということになった。そこで、LINEグループを作り、食べたものの写真を送

り合うようにした。まずは寮長の僕がチェックして、栄養面で改善が必要な部員は、葛西先生に指導してもらっている。最初はみんな嫌がるかと思ったけど、すごく協力的だよ。

岩佐 昨年の先輩方がそういうチームづくりをしてくれたおかげ。だからこそ、箱根駅伝でも良い結果が出せたのだと思う。その流れを受け継いだ今年は、主力選手を中心に、もっと上をめざそうという思いがチーム内に浸透してきたと感じる。

どんな距離でも戦える選手がいることの強み

田村 今、チームの雰囲気はすごく良いよね。選手の層も格段に厚くなった。

島貫 選手一人ひとりが力をつけてきたことを感じる。短い距離でも長い距離でも戦えるのが、今の帝京大学の強みだね。

岩佐 ハーフマラソンやトラックでもいいタイムが出ているし、全体的にレベルアップしていると思う。

島貫 一方で、まだまだ足りない部分もあると僕は感じている。特に各自が決めて取り組む練習の質にバラつきがあるので、あまりできていない部員には積極的に声をかけて、チームの底上げをしていきたい。



副主将・田村 文哉

岩佐 難しいのが距離感。僕らが厳しく言いすぎても雰囲気が悪くなるし、本人の自主性も育たないから、バランスやメリハリは大事だなと実感している。

田村 そうだね。僕もあまりうるさくなりすぎないよう、気を付けている。

岩佐 選手に任せられている部分が多いのが帝京大学の特徴であり、良さでもある。自主的に練習やケア、生活面の管理ができている選手は、確実に強くなっているね。そのポジティブな感じをチーム全体に波及させて、良い方向に持っていきたい。

出雲、全日本で勢いをつけ、箱根路を制する

島貫 今年で僕たちは最後の学年になるけど、岩佐と田村はどんな年にしたい？

田村 昨年は箱根駅伝を走ることができず、本当に悔しい思いをしたので、今年こそは走りたい。僕は小学校四年生から陸上を始めたけど、大学卒業後は実業団に行かないから、今年が最後。今までやってきた経験と想いをすべてぶつけて、全力でやりきって最後を迎えたいと思っている。

岩佐 今年のチームの目標は、箱根駅伝総合優勝。今年は予選会が免除されるので、駅伝のトレーニングに例年以上に時間を割くことができる。出雲駅伝、全日本大学駅伝で勢いをつけ、箱根駅伝につなげていくという流れを



寮長・島貫 温太

描いている。個人の目標としては、箱根駅伝でアドバンテージを稼げる走りをして、チームを引っ張ってきたい。箱根駅伝は手堅い走りでは戦えないから。

島貫 僕はまず、トラックで1万メートルの帝京大学記録を更新したい。そして、出雲駅伝、全日本大学駅伝に出場して区間賞をとって、最後は箱根駅伝でチームの総合優勝に貢献できる走りをする。他には寮長として、後輩に態度で示せるよう、自分の行動を律していきたい。

田村 生活面もそうなんだけど、やはり競技力がないと後輩もついてこないと思うから、普段から積極的に練習を引っ張り、声をかけて、チームを盛り上げていきたい。

岩佐 駅伝は、メンバーの誰か一人でも流れに乗れないと、そこからどんどん崩れてしまう。主将として、メンバー一人ひとりにしっかりと目を向け、フォローしていきたい。

T

「主力の決意」

谷村 龍生 × 鳥飼 悠生 × 山根 昂希 × 中村 風馬

四年生とともにチームを支える、二・三年生の主力選手たち。現在のチームの雰囲気や、主軸を担う選手として心がけていることなどをテーマに語り合った。

撮影=志賀 由佳、取材・文=笹原 風花



選手たちの自主性を尊重

山根 入学当初から僕ら三年生は同学年のつながりを大切にしている。月一で学年ミーティングを行ってきた。

谷村 練習に対する姿勢の違いで、ぶつかったこともあった。でも、本音で話し合ったおかげでみんなが納得できたから、良かったと思う。

中村 僕たち二年生も、だんだんと本音で意見を言い合えるようになってきました。

鳥飼 中村から見ると、最近のチームの雰囲気はどうか？
中村 先輩とは話しやすいし、練習中の雰囲気もいいです。中野監督の指導で成長を実感できます。

谷村 中野監督は僕らの意見や自主性を尊重してくれるから、のびのびと練習できる。全員で行うポイント練習と各自の練習のメリハリが効いている。



鳥飼 悠生 (三年生)

山根 昂希 (三年生)



鳥飼 各自に任せられた部分で差もつけられる。

中村 さらに、量をこなすことでメンタル面も鍛えられたし、成長につながっていると感じます。

山根 生活面で帝京大学のいいところは、食事がおいしいこと。栄養面でも優れているから、夏場や距離走の後のように、食欲が落ちてしまいがちなときでも食べやすい。

鳥飼 あと、練習の休みが日曜日なのもいい。心身共にリフレッシュできる。

山根 寮と競技場と大学とが近いのもポイントだね。移動が楽だから、時間を有効活用できる。

谷村 こういった生活環境は、モチベーションを保つためにも実は凄く大きなことだと思う。

強い気持ちで箱根駅伝に挑む

山根 僕は自分より速い選手にな

んとか追いつこうという気持ちで日々練習しているけど、みんなが心がけていることは何？

鳥飼 故障しないこと。昨年まではけがが多くて練習ができていない時期があったから、練習にメリハリをつけて疲労を溜めないようにしている。今はチーム全体のレベルが上がってきて、実力争いがいい意味でシビアになっているから、とにかく安定して結果を残したいと思っている。

中村 僕は日々の体のケアを怠らないようにしています。疲労のない、ベストコンディションで翌日の練習に臨めるよう、風呂上がりのストレッチやマッサージは絶対に欠かしません。

谷村 僕は、気持ちを強く持つことかな。僕が故障しないのは、故障したくないという気持ちが一・倍強いからだと思う。ところで、鳥飼は昨年の箱根駅伝はどうだった？

鳥飼 区間9位だったけど、優勝を狙う今年、同じような走りではダメだと思っている。昨年までは箱



中村 風馬 (二年生)

根駅伝に出ることが自分の目標だったけど、今年は箱根駅伝で最高の走りをするのが目標。最髙学年になる来年を見据えて、今年は往路を経験しておきたい。

山根 僕は2年連続で箱根駅伝の直前合宿までは行ったものの、エントリーメンバーに選ばれず、悔しい思いをしてきた。「箱根駅伝に出たい」という気持ちだけではメンバーに入れないことはよくわかっているの、絶対に箱根駅伝で活躍する」という強い気持ちで臨みたい。

谷村 昨年は出雲駅伝と全日本大学駅伝は走ったけど、そこで燃え尽きてしまっって箱根駅伝は走れなかった。課題は長い距離けがをしにくいという強みを生かして、今年は練習量を増やしている。まずはハーフマラソンで結果を出し、箱根駅伝につなげたい。そして、ピークを箱根

駅伝にもっていきけるよう、昨年の反省を生かしたい。

中村 僕は登りが得意なので、今年の箱根駅伝では5区を区間上位の成績で走ることを目標にしています。5区は帝京大学の課題と言われてきたので、そのイメージを払拭したい。僕のような中堅クラスの選手が力をつけて上がっていくことで、チーム全体の底上げをして、総合優勝に近づけていきたいと思っています。

山根 駅伝のメンバーに入ると、赤いユニフォームがもらえる。憧れのあのユニフォームを今年こそは着る。夏合宿で体をつくって、トラックで自己ベストを出して、駅伝シーズンを良いかたちで迎えたい。



谷村 龍生 (三年生)

サポート スタッフ紹介

大学最高水準と言われる
帝京大学のサポート体制。
コーチや管理栄養士など、
選手を支えるさまざまなスタッフを紹介する。

撮影=志賀 由佳、取材・文=笹原 風花



高橋 拓夢 コーチ

箱根駅伝優勝のカギは“生活面” 競技以外でも選手たちをフォロー

帝京大学は良い意味で「固定概念」がないチームだと感じます。選手たちは個性豊かで人間的にも魅力的で、それがチームのしなやかな強さにつながっているのでしょう。私は学生時代、主務として箱根駅伝の総合優勝を経験しました。勝因は生活面の改善です。1日のうちで練習時間よりも圧倒的に長い「それ以外の時間」をいかに過ごすかで、成績は大きく変わります。競技以外の面でも選手をフォローし、箱根駅伝の総合優勝を本気でめざすチームをサポートしていきたいです。



葛西 真弓 助教

帝京大学スポーツ医科学センター/管理栄養士

食生活の面から選手たちをサポート 今年の目標は食を通じた体力づくり

駅伝競走部専属の管理栄養士として、食生活の面から選手たちを支えています。今年は監督と相談して「体力をつける」ことを目標に掲げ、選手主体で食事の改善を進めています。着目したのが、選手が自分で食べるものを選ぶ昼食。調査をしたところ、多くの課題が見つかり、改善に向けて取り組むことで、貧血などの体調不良の悩みが激減。選手の食事への意識も大きく変わりました。選手の自主性を尊重する監督の方針が、食についても浸透してきたことを実感しています。



大西 朋 助教

帝京大学スポーツ医科学センター/サイエンスチーム

測定したデータから選手の状態を把握 運動生理学の知見を現場につなげる

私は運動生理学が専門で、測定を通じて駅伝競走部のサポートをしています。例えば、最大酸素摂取量や乳酸濃度、心拍数など有酸素能力データの取得、合宿では、乳酸測定による練習強度の確認や疲労度およびストレスチェックの実施。それらの結果は、監督やコーチ、そして選手に、状態を知る資料としてフィードバックをしています。現場につながる測定をする、そのことを意識し取り組んでいます。

CROSS TALK

大学3大駅伝の展望

主務 副主務
山崎 隼輝 × 森 一平

昨年度の大学3大駅伝では、いずれも5位という成績を残した駅伝競走部。
この結果をどう捉え、今年度はどのような展望を描いているのか。山崎主務と森副主務が語り合った。

撮影=志賀 由佳、取材・文=笹原 風花

2019年度の目標

出雲駅伝 **4位**
全日本大学駅伝 **3位**
箱根駅伝 **総合優勝**



今年度のチームの展望を語る、副主務の森（写真左）と主務の山崎（右）

全日本の悔しさを箱根で晴らす
山崎 昨年度は、出雲駅伝で5位という好成绩を残してチームに勢いがついた。一方で課題も見えてきたので、次につなげる意味でも有意義な大会だった。
森 続く全日本大学駅伝では、後半で失速してしまったのが悔しかった。もっと上位を狙えたし、山崎 5位という結果にも、全員が満足してはなかったね。
森 箱根駅伝では3、4区と上がり調子だったものの、5区でペースタウンしてしまい、往路を終えた時点でシード圏内ギリギリという状況。焦りもあったけど、復路への期待感の方が大きかったと思う。

山崎 6区を走った島貫さんは、駅伝ではあまり結果を残せていなかったけど、区間5位の走りだ。立て直してくれた。
森 10区を走った星は、20kmの通過ラップタイムで初めて区間トップになり、中野監督から「区間賞を狙えるぞ」と激励が飛んだ。ラスト3kmも全力で走り抜けてくれたね。
山崎 走りに悔いが残ったメンバーもいたけど、最後は気持ち良く終わったと思う。

全員で同じビジョンを描く

山崎 昨年度の四年生は団結力が強く、レギュラー以外の選手も含めてみんなが積極的に発言する雰囲気のある学年だった。その姿を見てきた今年度の四年生も、主将の岩佐さんを中心にみんなが同じビジョンを描けるようになってきた。
森 そうだね。今年度は一、二年生を中心に伸びしろのある選手が多い。出雲駅伝で4位、全日本大学駅伝で3位、そして箱根駅伝で総合優勝するという目標は、十分に達成可能だと思う。
山崎 僕は今年度から主務に就いて、まだ手探り状態だけど、四年生が主体となって行うチームづくりを支えるのが、主務の役割だと思う。客観的な視点も忘れないようにしたい。



ポイント練習ではマネージャーが選手のラップタイムを計測。練習をサポートする

EKIDEN





EKIDEN
TEIKYO UNIV.
SPORTS OFFICIAL
YEARBOOK 2019



PLAYERS LIST 2019

2019年 帝京大学駅伝競走部 プレイヤーズリスト

Profile 氏名 / 学部・学科 / 出身高校 / 出身地 / 身長・体重
①目標 ②座右の銘 ③ 5000m、10000m の自己ベストタイムと目標タイム

3rd Grade

PLAYERS LIST
2019
Ekiden
3年生



吉田 律哉

Ritsuya Yoshida
医療技術学部スポーツ医療学科
京都外大西高/京都府/167cm・52kg
①三大駅伝出走②不撓不屈③5000m (14分29秒48/14分20秒) 10000m (29分58秒77/29分20秒)



星岳

Gaku Hoshi
医療技術学部スポーツ医療学科
明成高/宮城県/162cm・48kg
①三大駅伝フル出場②日進月歩③5000m (14分04秒23/13分59秒) 10000m (29分12秒09/28分45秒)



谷村 龍生

Ryo Tanimura
医療技術学部スポーツ医療学科
西京高/山口県/168cm・52kg
①箱根駅伝優勝②100年経っても谷村③5000m (14分08秒08/14分05秒) 10000m (29分34秒87/29分10秒)



渡邊 悠斗

Yuto Watanabe
医療技術学部スポーツ医療学科
東北高/宮城県/172cm・60kg
①けがをしない②持ちつ持たれつギブアンドテイク③5000m (14分35秒64/14分20秒) 10000m (30分05秒73/29分45秒)



増田 空

Sora Masuda
医療技術学部スポーツ医療学科
小豆島高/香川県/182cm・62kg
①父の記録を超える②経られる前に経る③5000m (14分12秒81/13分59秒) 10000m (29分38秒38/28分59秒)



鳥飼 悠生

Yuki Torikai
医療技術学部スポーツ医療学科
市立船橋高/千葉県/175cm・63kg
①上尾ハーフ日本人2位以内、箱根駅伝区間5位以内②有言実行③5000m (14分15秒84/13分59秒) 10000m (29分45秒58/28分59秒)



甘崎 勝

Sho Amasaki
経済学部経済学科
世羅高/広島県/175cm・58kg
①箱根駅伝出走②速い選手より強い選手に③5000m (14分27秒28/14分10秒) 10000m (32分03秒48/29分50秒)



政光 瑛

Akira Masamitsu
医療技術学部スポーツ医療学科
西条農業高/広島県/169cm・54kg
①けがをしない②元気があればなんでもできる③5000m (14分45秒55/14分30秒) 10000m (30分10秒56/29分59秒99)



田村 文哉
副主将

Joya Tamura
医療技術学部スポーツ医療学科
市立船橋高/千葉県/177cm・58kg
①三大駅伝に出場し、大いに目立つ②諦めることを諦める③5000m (14分29秒16/14分10秒) 10000m (29分41秒49/29分15秒)



後藤 佑太郎

Yutaro Goto
医療技術学部スポーツ医療学科
市立船橋高/千葉県/175cm・60kg
①活躍する②一意専心③5000m (14分32秒48/14分25秒) 10000m (30分18秒41/29分59秒)

4th Grade

PLAYERS LIST
2019
Ekiden
4年生



田中 理紗子
関東学連常任幹事

Risako Tanaka
経済学部経済学科
名古屋西高/愛知県
①多くの人に陸上競技場を知ってもらい、大会に足を運んでもらう②継続は力なり③5000mW (26分32秒20)



森 一平
副主将

Ippei Mori
医療技術学部スポーツ医療学科
諫早高/長崎県/178cm・72kg
①倒れないマネージャーになる②七転び八起き③5000m (15分22秒10)



日野 大翔

Hiroto Hino
医療技術学部スポーツ医療学科
札幌山の字高/北海道/172cm・64kg
①5000mで14分30秒を切る②継続は力なり③5000m (14分59秒27/14分30秒) 10000m (-/30分30秒)



小野 寺悠

Haruka Onodera
法学部法律学科
加藤学園高/静岡県/172cm・57kg
①三大駅伝目標達成に貢献②invisible force③5000m (14分04秒61/13分55秒) 10000m (29分14秒22/28分30秒)



吉田 堯紀

Takaki Yoshida
医療技術学部スポーツ医療学科
八戸学院光星高/青森県/164cm・55kg
①箱根駅伝出走②好きこそ手の上手なれ③5000m (14分24秒21/14分15秒) 10000m (30分17秒29/29分30秒)



田村 岳士

Takeshi Tamura
医療技術学部スポーツ医療学科
東京学園新潟高/新潟県/170cm・51kg
①自己ベスト更新②怠惰を求めて勤勉に行き着く③5000m (14分20秒73/14分15秒) 10000m (29分42秒13/29分30秒)



小林 万修

Banshu Kobayashi
医療技術学部スポーツ医療学科
十日町高/新潟県/174cm・61kg
①10000mで29分台を出す②失敗して気付く③5000m (14分28秒11/14分25秒) 10000m (30分22秒94/29分59秒)



安立 弘樹

Hiroki Adachi
法学部法律学科
加藤学園高/静岡県/165cm・56kg
①全種目ベスト更新②健康第一③5000m (14分38秒24/14分30秒) 10000m (30分27秒48/30分00秒)



山崎 隼輝
主将

Toshiki Yamazaki
医療技術学部スポーツ医療学科
相洋高/神奈川県/170cm・55kg
①信頼される人になる②自ら機会を創り出し、機会によって自らを変えよ③5000m (15分45秒81)



日野 原智也

Tomoya Hinohara
医療技術学部スポーツ医療学科
伊勢崎商業高/群馬県/171cm・65kg
①けがをしない体づくり②終わり良ければ総てよし③5000m (14分28秒35/14分10秒) 10000m (29分51秒12/29分20秒)



境 勇樹

Yuki Sakai
医療技術学部スポーツ医療学科
西脇工業高/兵庫県/173cm・55kg
①箱根駅伝出場、優勝メンバーになる②思い描いて夢叶う③5000m (14分31秒67/14分15秒) 10000m (29分45秒60/29分10秒)



鈴木 拓

Taku Suzuki
医療技術学部スポーツ医療学科
武蔵越生高/埼玉県/177cm・64kg
①5000m、10000mのタイム向上②有言実行③5000m (14分29秒67/14分20秒) 10000m (30分31秒23/29分30秒)



吉野 貴大

Takahiro Yoshino
経済学部経済学科
東海大学望星高/神奈川県/166cm・50kg
①箱根駅伝出場②止まない雨はない③5000m (14分20秒64/14分00秒) 10000m (29分17秒30/29分00秒)



中江 颯一郎

Soichiro Nakae
医療技術学部スポーツ医療学科
清風高/大阪府/177cm・55kg
①自己ベスト更新②自利利他③5000m (14分44秒82/14分40秒) 10000m (29分57秒52/29分45秒)



小森 稜太

Ryota Komori
医療技術学部スポーツ医療学科
いなべ総合学園高/三重県/167cm・52kg
①箱根駅伝優勝②継続は力なり③5000m (14分32秒10/14分09秒) 10000m (29分18秒08/28分45秒)



岩佐 志誠
主将

Issei Iwasa
医療技術学部スポーツ医療学科
徳島科学技術高/徳島県/167cm・56kg
①箱根駅伝優勝②日は好日③5000m (14分00秒42/13分55秒) 10000m (29分11秒41/28分50秒)



荒木 翼

Tsubasa Araki
経済学部経済学科
八代東高/熊本県/171cm・54kg
①ハーフで65分台を出す②完全燃焼③5000m (15分11秒98/14分20秒) 10000m (31分41秒82/29分30秒)



山根 昂希

Koki Yamane
医療技術学部スポーツ医療学科
和歌山北高/和歌山県/170cm・50kg
①箱根駅伝優勝に貢献する②一生懸命③5000m (14分25秒11/14分10秒) 10000m (29分47秒67/29分10秒)



福島 健斗

Kento Fukushima
医療技術学部スポーツ医療学科
武蔵越生高/埼玉県/177cm・64kg
①5000m、10000mのタイム向上②有言実行③5000m (14分29秒67/14分20秒) 10000m (30分31秒23/29分30秒)



鈴木 拓

Naoyuki Nakajima
経済学部経営学科
市立松戸高/千葉県/172cm・75kg
①ベスト更新②やらぬ善よりやる偽善③5000m (14分49秒51/14分39秒) 10000m (31分21秒13/30分30秒)



中島 尚幸
関東学連常任幹事

Koshiro Hirata
医療技術学部スポーツ医療学科
久御山高/京都府/175cm・53kg
①結果を出す②継続は力なり③5000m (14分16秒13/14分05秒) 10000m (29分09秒32/28分59秒)



平田 幸四郎

Atsuto Shimanuki
医療技術学部スポーツ医療学科
市立柏高/千葉県/173cm・56kg
①箱根駅伝総合優勝 三大駅伝区間賞②明日は明日の風が吹く③5000m (14分06秒19/13分49秒) 10000m (28分30秒52/28分20秒)



島貫 温太
寮長

Tomohiro Oka
医療技術学部スポーツ医療学科
日立工業高/茨城県/162cm・48kg
①箱根駅伝優勝②現状打破③5000m (14分28秒44/14分15秒) 10000m (29分46秒21/29分20秒)



岡 智洋

Tomohiro Oka
医療技術学部スポーツ医療学科
日立工業高/茨城県/162cm・48kg
①箱根駅伝優勝②現状打破③5000m (14分28秒44/14分15秒) 10000m (29分46秒21/29分20秒)



吉岡尚紀

Naoki Yoshioka
教育学部教育文化学科
桂高/京都府/166cm・58kg
①1年を通して練習を積み②努力の上に花が咲く
③5000m (14分44秒66/14分20秒)
10000m (-/30分00秒)



村上真生

Mao Murakami
医療技術学部スポーツ医療学科
市立船橋高/千葉県/175cm・58kg
①箱根駅伝区間賞②今日だけ頑張ろう明日やる
うは馬鹿野郎③5000m (14分48秒39/14分17秒)
10000m (31分03秒94/29分20秒)



中野大地

Daichi Nakano
医療技術学部スポーツ医療学科
国学院久我山高/東京都/167cm・55kg
①精一杯頑張る②才能は開花させるもの センス
は磨くもの③5000m (15分07秒88/14分20秒)
10000m (-/29分30秒)



菅家空

Sora Kanke
医療技術学部スポーツ医療学科
田村高/福島県/164cm・50kg
①箱根駅伝メンバー入り②念ずれば花開く
③5000m (14分33秒03/14分20秒)
10000m (-/29分30秒)

1st Grade
PLAYERS LIST
2019
Ekiden
1年生



細谷翔馬

Shoma Hosoya
医療技術学部スポーツ医療学科
東北高/山形県/172cm・57kg
①箱根駅伝で活躍する②どこへ行っても自分
次第③5000m (14分27秒01/14分15秒)
10000m (31分14秒78/29分30秒)



仲亀京助

マネージャー

Kyosuke Nakagame
経済学部経営学科
加藤学園高/静岡県/168cm・55kg
①チームを全面的に支える②獅子博覧③5000m
(15分51秒06)



遠藤大地

Daichi Endo
医療技術学部スポーツ医療学科
古川工業高/宮城県/173cm・59kg
①箱根駅伝優勝に貢献する②愛は勝つ③5000m
(13分59秒85/13分49秒) 10000m (28分
34秒88/28分19秒)



大島沙羅

関東学連幹事

Sara Oshima
経済学部経営学科
上尾高/埼玉県
①積極的に行動する②千里の道も一歩から
③3000m (11分08秒96)



元永好多朗

Kotaro Motonaga
医療技術学部スポーツ医療学科
宇部高専高/山口県/165cm・51kg
①10000mで29分台を出す②走った距離は裏切
らない③5000m (14分37秒16/14分20秒)
10000m (-/29分59秒)



比嘉良悟

Ryogo Higa
経済学部国際経済学科
那覇高専高/沖縄県/170cm・53kg
①5000mで14分35秒を出す②初志貫徹
③5000m (15分10秒38/14分35秒)
10000m (-/29分50秒)



北野開平

Kaihei Kitano
医療技術学部スポーツ医療学科
須磨学園高/兵庫県/159cm・44kg
①けが無く練習をこなす②継続は力なり
③5000m (14分32秒04/14分25秒)
10000m (31分40秒08/29分45秒)



新井大貴

Hiroki Arai
医療技術学部スポーツ医療学科
前橋育英高/群馬県/165cm・54kg
①三大駅伝選抜メンバーに入る②努力は必ず報
われる③5000m (14分29秒37/14分15秒)
10000m (30分35秒08/29分55秒)



三原魁人

Kaito Mihara
医療技術学部スポーツ医療学科
洛南高/京都府/178cm・55kg
①三大駅伝を走りチームに貢献する②人生は
アート③5000m (14分37秒13/14分09秒)
10000m (31分26秒07/29分15秒)



中村風馬

Fuma Nakamura
医療技術学部スポーツ医療学科
草津東高/滋賀県/168cm・52kg
①ハーフマラソンで帝京記録更新②挑戦③
5000m (14分14秒65/14分05秒) 10000m
(29分13秒58/28分50秒)



國本尚希

Naoki Kunimoto
医療技術学部スポーツ医療学科
出水中央高/鹿児島県/169cm・58kg
①箱根駅伝選抜メンバーに選ばれた②努力は報
われる③5000m (14分38秒05/14分10秒)
10000m (30分21秒73/29分05秒)



小川果梨

関東学連常任幹事

Karin Ogawa
医療技術学部スポーツ医療学科
福岡講義館高/福岡県
①単位を落とさない②因果応報



森本翔太

Shota Morimoto
経済学部国際経済学科
横西学院高/長崎県/164cm・53kg
①故障なく練習を積み②人生楽しんでもん勝ち
③5000m (14分56秒05/14分29秒)
10000m (-/29分59秒)



樋口雄平

マネージャー

Yuhei Higuchi
医療技術学部スポーツ医療学科
帝京高/東京都/166cm・54kg
①チームを支える②克己心③5000m (15分38
秒90) 10000m (32分28秒92)



佐藤映斗

Eito Sato
医療技術学部スポーツ医療学科
九州学院高/熊本県/175cm・60kg
①出雲駅伝のメンバーに入る②努力は必ず報
われる③5000m (14分40秒35/14分15秒)
10000m (-/29分20秒)



伊藤圭介

Keisuke Ito
経済学部観光経営学科
瑞門高/徳島県/164cm・51kg
①長い距離に対応する②過ぎたるは及ばざる
が如し③5000m (14分38秒15/14分13秒)
10000m (30分32秒59/29分30秒)



森田瑛介

Eisuke Morita
教育学部教育文化学科
前橋育英高/群馬県/177cm・57kg
①長い距離に耐える②過ぎたるは及ばざる
が如し③5000m (14分24秒86/14分13秒)
10000m (30分32秒59/29分30秒)



橋本尚斗

Naoto Hashimoto
教育学部教育文化学科
鳴門高/徳島県/184cm・60kg
①三大駅伝出場②念ずれば花開く③5000m (14
分22秒11/13分59秒) 10000m (-/28分40
秒)



郷明日翔

Asuka Go
教育学部教育文化学科
九州学院高/熊本県/166cm・50kg
①最後まで諦めない②素直・謙虚・懸命に
③5000m (14分27秒23/14分15秒)
10000m (30分24秒22/29分45秒)



安田優登

Masato Yasuda
経済学部経営学科
市立船橋高/千葉県/171cm・62kg
①10000mで29分30秒を出す②一歩街へ出れ
ば誘惑だらけ③5000m (14分30秒86/14分10
秒) 10000m (30分53秒20/29分30秒)



藤尾壮紀

Shoki Fujio
医療技術学部スポーツ医療学科
伊賀白鳳高/三重県/172cm・56kg
①けが無く練習を積み自己ベスト更新②雲外
蒼天③5000m (14分52秒19/14分29秒)
10000m (-/29分59秒)



鈴木究

Kiwamu Suzuki
法学部法律学科
加藤学園高/静岡県/175cm・58kg
①10000mで29分台を出す②不撓不屈③5000m
(14分40秒60/14分20秒) 10000m (-/29分
59秒)



伊藤昴

Subaru Ito
医療技術学部スポーツ医療学科
那須拓陽高/栃木県/170cm・54kg
①けが無く練習を積み②人生を全力で楽しむ
③5000m (14分45秒04/14分25秒)
10000m (32分06秒65/30分30秒)



安村晴樹

Haruki Yasumura
医療技術学部スポーツ医療学科
西京高/山口県/172cm・65kg
①後悔しない②日々努力③5000m (14分38秒
46/14分30秒) 10000m (-/30分30秒)



服部廉己

マネージャー

Renki Hattori
法学部法律学科
加藤学園高/静岡県/176cm・65kg
①氣遣いが出るマネージャーになる②翼の志
③5000m (15分15秒85)



佐藤拓人

Takuto Sato
医療技術学部スポーツ医療学科
中越高/新潟県/166cm・54kg
①5000m、10000mでベスト更新②夢は逃げな
い。逃げるのは自分だ。③5000m (14分30秒
53/14分15秒) 10000m (31分17秒93/29分
30秒)



山田一輝

Kazuki Yamada
経済学部観光経営学科
白石高/佐賀県/168cm・52kg
①高校の先輩に少しでも追いつく②何事も必然、
偶然はない③5000m (14分43秒10/14分10
秒) 10000m (-/29分30秒)



本多遼也

Ryoya Honda
経済学部経済学科
藤沢翔陽高/神奈川県/171cm・58kg
①故障をしない②勇猛果敢③5000m (14分46
秒17/14分20秒) 10000m (30分52秒85/29
分50秒)



高橋峻

Ryo Takahashi
経済学部経済学科
武蔵越生高/埼玉県/166cm・53kg
①けがをしない②むさおご魂③5000m (14分
50秒27/14分15秒) 10000m (-/29分30秒)



大花将太

Shota Ohana
経済学部教育文化学科
中越高/新潟県/172cm・56kg
①箱根駅伝出場②努力は裏切らない③5000m
(14分53秒95/14分20秒) 10000m (-/29分
30秒)



渡部裕輝

Hiroki Watabe
教育学部教育文化学科
清風高/大阪府/180cm・63kg
①5000mで14分30秒を出す②あきらめない
③5000m (14分56秒14/14分30秒)
10000m (-/30分10秒)



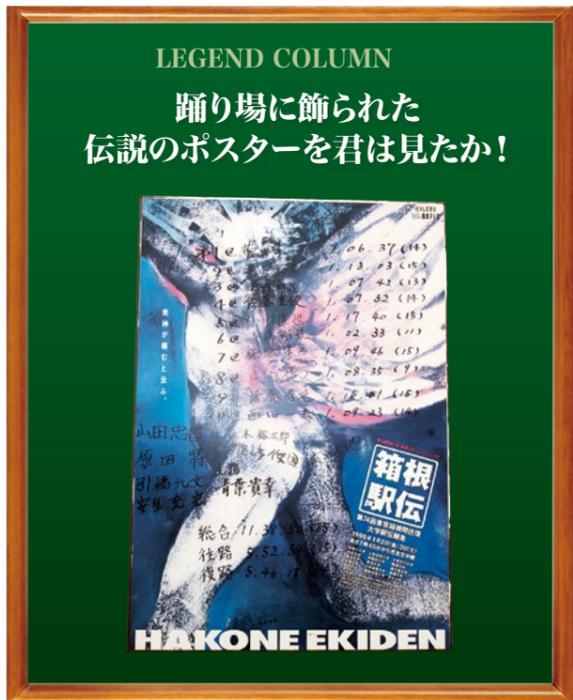
平石佑馬

Yuma Hiraishi
教育学部教育文化学科
桂高/京都府/169cm・58kg
①5000m、10000m、ハーフでベスト更新
②ちっぽけな勇気③5000m (14分40秒03/14
分30秒) 10000m (31分03秒89/30分30秒)



寺島溪一

Keiichi Terashima
医療技術学部スポーツ医療学科
前橋育英高/群馬県/176cm・60kg
①ハーフマラソンで64分20秒を出す②継続は
力なり③5000m (14分32秒56/14分20秒)
10000m (31分16秒90/29分40秒)



1Fから2Fへの階段の踊り場に、額縁に飾られた1枚の古い箱根駅伝ポスターがある。これは帝京大学がはじめて箱根駅伝に出場した1997年度のメンバーが、その名と成績を記している。すべてはここからはじまったのだ。

■ プライベートルーム



選手たちのプライベートルームは1階と2階にある。2人で共有している部屋は、選手の性格や趣味などが反映され、部屋ごとに個々のカラーが出ている。

■ マガジンラック



駅伝に関する雑誌や本が並ぶ。情報収集も怠ってはいけない。

合宿所でも熱くなれ！ 意識を高めるグッズ紹介

箱根駅伝をめざす選手たる者、日常生活でも準備を整えなければならない。選手たちの意識を高める、オリジナルグッズの数々を紹介しよう。

■ 日めくりカレンダー



箱根駅伝までの残り日数は、常に確認！

■ 玄関



下駄箱には各自の目標を張り出している。



2階

2Fは選手たちのプライベートルームが中心。先輩との相部屋なので、わからないことは何でも聞いてみよう！

先輩たちがみんなの入室を待っている！一緒に楽しく過ごそう！



寮長・島貫温太

■ 廊下



各部屋の前にあるラックには、ランニングシューズがぎっしり。



寮長・島貫温太がナビゲート！

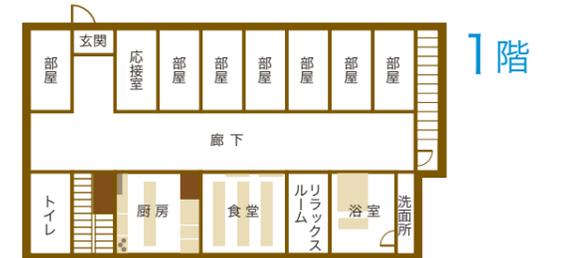
帝京大学駅伝競走部合宿所紹介

帝京大学八王子キャンパスと陸上競技場の双方から徒歩10分圏内に位置する、駅伝競走部の合宿所。選手が4年間、寝食を共にしているこの合宿所は、寮長の島貫温太を中心に、選手たちだけで管理していることが特徴だ。合宿所内のさまざまな施設を紹介しよう。

■ 食堂&厨房



食堂&厨房ともいつでも利用可能。食堂ではお昼ご飯を食べたり、フリースペースとしても活用できる。厨房には、大きな業務用冷蔵庫や調理器具がひと通り揃う。料理上手な選手が自炊をすることも。



1階

1Fには食堂や厨房、浴室、洗面所など、生活に必須の施設が並ぶ。使いこなして、寮生活に早く慣れよう！

■ リラックスルーム



マッサージベッドやバランスボールなど、さまざまな器具が揃う。選手同士でマッサージをすることも。

■ 洗面所



5つの洗面台が並ぶ。ここで身なりを整えよう。

■ 浴室



浴室は大きく、1度に5~6人が利用できる。湯船にゆっくりつかって、練習後の疲れをしっかりとうる。

思わず胸が熱くなる、応援メッセージの数々



壁にはたくさんの応援メッセージが掲示されている。落ち込んだとき、初心にもどりたいときに目を通してみよう。

■ 応接室



合宿所への来訪者を通す部屋。壁には大会のポスターやユニフォームが飾られている。



Sports Science & Medicine

帝京大学スポーツ医科学センター

スポーツ医科学をさらに究め、 学生たちを安全に、健康に、強くする

帝京大学スポーツ医科学センターは、「メディカル」「フィジカル」「サイエンス」「テクノロジー」の各分野の専門スタッフがチームを結成し、分野を超えた連携をしながら各クラブをサポートしています。「うちかつ強さを」をスローガンに掲げ、学生アスリートの希望を叶えられるように多角的なサポートをしています。

Medical Support

メディカルサポート

メディカル部門では、超音波やMRI、高気圧酸素治療室などを備えたスポーツ医学クリニックを八王子キャンパス内に開院し、スポーツ傷害に対する診療を行っています。また、クリニックでの診療にとどまらず、練習・試合・合宿にも帯同し、アスリートとの日常的なかかわりを通じてスポーツ傷害の早期発見・予防を行っています。



Physical Support

フィジカルサポート

栄養
栄養グループは管理栄養士により構成され、各測定や調査に基づく個々の栄養状態から競技特性を考慮したうえで、コンディション維持・向上を目的とした栄養サポート（栄養指導・食教育、食事提供等）を行っています。

トレーナー

トレーナーグループにはアスレティックトレーナーとフィジカルコーチが所属し、選手に対する傷害の予防とコンディショニング、スポーツ傷害からの早期復帰支援などの専門業務に加え、選手の自立を促す活動に取り組んでいます。

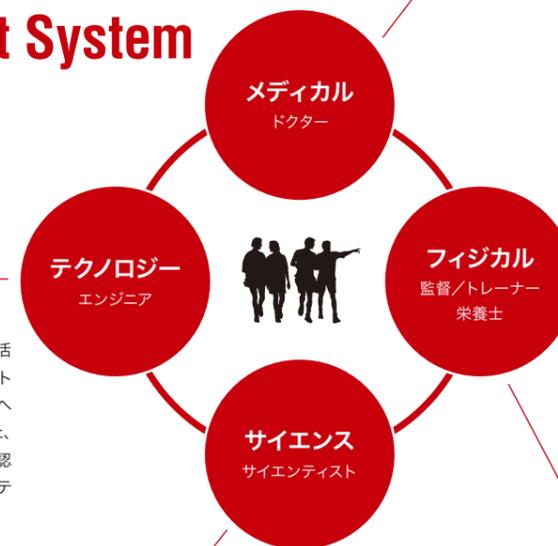


帝京大学
スポーツ医科学クリニック
菅原 潤 院長

撮影=川本聖哉 取材=文=外山武史

Total Support System

各クラブを4方面から支える
トータルサポートシステム



Technology Support

テクノロジーサポート

テクノロジー部門では、情報処理技術を活用し、サポートに必要な情報を管理するソフトウェアサービスの開発を行うことで、選手への効率的なサポートを実現しています。また、練習や試合の映像をいつでも、どこでも確認できる情報収録 & 映像データベースシステムも構築しています。

Science Support

サイエンスサポート

サイエンス部門では、選手に関するさまざまなデータを測定・分析し、それらを検証して科学的根拠に基づく新しい測定法・評価法の開発を行っています。駅伝競走部では環境制御室を使用して、最大酸素摂取量や乳酸、心拍数など、選手の基礎的なデータを計測。監督やコーチにフィードバックして、練習の強度に反映しています。



国内屈指のスポーツ医療でアスリートを守る

帝京大学スポーツ医科学センターは、国内有数の充実した医療設備を備え、スポーツ傷害の予防と治療に取り組んでいます。スポーツ医療を推進する「メディカルチーム」の強みのひとつは、エコー（超音波）による診療です。スポーツ医科学センターの1階にあるスポーツ医学クリニックでは、選手は診察室に入ってから、わずか数分で適切な診断を受けられます。また、けがを早期発見して悪化を防ぐことや、けが予防のためにトレーニングを見直すことも可能です。さらには、学内外の医療機関と連携しているため、状況に応じて各分野の権威とされる医師を紹介することもできます。ありとあらゆる手段で選手を守ることが私たちの役目です。

おいしくて栄養サポートも万全 スポーツ医科学センターでとる食事

選手たちは朝・夕食をスポーツ医科学センターでとります（昼食は希望制）。食堂にあるモニターには、その日の献立と栄養価が表示。栄養面でのサポートはもちろん、味もとても良いと選手たちに好評。ハードな練習後や、暑い季節でも食が自然と進みます。

実食価	献立
1171	鶏肉の山賊焼き
473	菜の花の辛子和え
394	里芋と野菜の煮物
405	強化米
85	味噌汁
128	デザート
154	鉄強化ヨーグルト
98	フルーツ

主務・山崎が撮影!

帝京大学スポーツ医科学センター 1週間の夕食レポート!

Mon.



かき揚げうどん/ねばねば三昧/千切り人参とツナの炒め/
カルシウムヨーグルト/フルーツ/サラダバー/炊き込みご飯

Tue.



鶏肉の山賊焼き/菜の花の辛子和え/里芋と野菜の煮物/
鉄強化ヨーグルト/フルーツ/サラダバー/強化米/味噌汁

Wed.



鮭のコーンマヨネーズ焼き/切干大根のはりはり漬け/南瓜の煮物/
ジョア/フルーツ/サラダバー/強化米/味噌汁

Thu.



ビーフカレー/ブロッコリーとささみの和え物/野菜炒め/
カルシウムヨーグルト/フルーツ/サラダバー/コンソメスープ

Fri.



チンジャオロース/キャベツと鮭のごま和え/じゃが芋とコーンのソテー/
鉄強化ヨーグルト/フルーツ/サラダバー/強化米/中華スープ



管理栄養士
葛西真弓先生監修!

科学的知見に沿った食事メニュー
リラックスできる空間づくりにも配慮

帝京大学スポーツ医科学センターで提供している食事のエネルギー・栄養素摂取目標量は、科学的知見に沿って算出しています。特に、貧血や疲労骨折に関連する栄養素の摂取に力を入れています。また、食事は選手がリラックスできる大切な時間なので、快適な空間づくりにも配慮しています。

TOPICS

日本学生ハーフマラソン選手権大会 上位 20 人中 7 人が帝京大学の選手に

2019年3月10日(日)に開催された第22回日本学生ハーフマラソン選手権大会で、上位20人中7人が帝京大学の選手となった。若佐志誠が1時間2分39秒で8位に入賞し、二・三年生も活躍するなど、選手層の厚さがうかがえる結果となった。



国内大会で好成績を挙げた 2 選手 海外で行われるマラソン大会に派遣

2018年11月18日(日)、第31回上尾シティハーフマラソンで星岳が日本人3位の好成績を収め優秀選手として、オーストラリアで2019年7月に開催されるゴールドコーストマラソンへの派遣資格を獲得。また、同年4月14日(日)、第29回かすみがうらマラソン10マイルの部で、小森稜太が2位に入賞。同年9月にオーストラリアで開催されるシドニーマラソンへの派遣資格を獲得した。



日本学生陸上競技個人選手権大会 谷村龍生が 5000 m で 4 位に入賞

2019年6月8日(土)に開催された2019日本学生陸上競技個人選手権大会で、谷村龍生が5000mで4位に入賞した。



年間スケジュール (2019 年度)

月	4月		5月			6月		7月			8月		9月	
区分	移行期・調整		トラック期			移行期		鍛練期			トラック期			
試合内容	調整&記録会	調整&記録会	兵庫リレーカーニバル			関東IC		調整&記録会		調整&記録会	調整&記録会	調整&記録会	日本IC	
強化練習			←→			←→		←→			←→ 合宿		←→ 合宿	

月	10月		11月		12月		1月		2月		3月			
区分	移行期	ロード期		移行期	鍛練期		調整・ロード期		休養・移行期		鍛練期	ロード期	移行期	鍛練期
試合内容	出雲駅伝			全日本大学駅伝	調整&記録会		箱根駅伝				香川丸亀国際ハーフマラソン 調整&記録会	日本学生ハーフマラソン		
強化練習			←→		←→ 合宿		←→		←→ (合宿)		←→		←→ (合宿)	

赤字=最大目標とする大会 青字=目標とする大会

駅伝競走部 OB の主な就職先 (過去 3 年分)

【公的機関など】

諫早市役所/唐津市消防本部/警視庁/埼玉県教育委員会/下北地域広域行政事務組合消防本部/防衛省陸上自衛隊/前橋市消防局

【一般企業】

愛知トヨタ自動車/アイドマ・ホールディングス/一条工務店/ウィルグループ/ウエルシア薬局/ SMBC 日興証券/ SG ホールディングス/ NTN / エヌ・ティ・ティ・ビジネスアソシエ東日本/ MDI / オープンハウス/奥村組/オルディ/ CSS 技術開発/カワダ/キャノンシステムアンドサポート/ コニカミノルタ/住友林業/セイコーウオッチ/積水ハウス/太平エンジニアリング/大和ハウス工業/タカラミーマーケティング/トヨタ紡織/ 登利平/パーク二四/パソナグループ/日立物流/広島トヨタ自動車/ FEEL CONNECTION /ロイヤルコーポレーション/わらべや日洋 (50 音順)

陸上競技場

駅伝競走部が練習を行う陸上競技場は、
日本陸上競技連盟より第4種公認陸上競技場として認定されており、
競技会や記録会にも使用できる。特長を紹介しよう。



陸上競技場

400m×6レーンのトラックには、国際陸上競技連盟IAAFオフィシャルサプライヤーのMONDO社製(イタリア)のスポーツフレックス・スーパーXを使用。全天候型のトラック材で、グリップ力、衝撃吸収力、反発力に優れている。オリンピックではリオ大会を含め7大会連続、世界陸上など多くの国際大会で実績がある。

公認陸上競技場とは

公認陸上競技場とは走路数や観客席の収容人数、トラックとフィールドの舗装材など、さまざまな規定条件を満たした陸上競技場が日本陸上競技連盟によって認定されるもので、第1種から第4種までの区分がある。本学の八王子キャンパス陸上競技場は、2016年3月に日本陸上競技連盟の公認検定を受け、4月に第4種公認陸上競技場として認定された。



人工芝
モンドターフ



スポーツフレックス・
スーパーX



更衣室&シャワー室

デスクやトレーニングマシン、マッサージベッドなどがあり、着替えはもちろん、ミーティングルームとしても活用され、選手たちの交流の場にもなっている。また、シャワールームが6つ備えつけられており、練習を終えた選手たちが頻りに活用している。

職員控室

選手の家族や学外指導者など、来客時の対応に使用している。ほかにも、テレビとDVDを完備しているので、大会映像の分析や、選手のフォームの癖をチェックするなどの研究も行っている。





特集2

「箱根駅伝の軌跡」

帝京大学が箱根駅伝に初出場したのは1997年度。
以降、2018年度までに計20回の出場を果たしている。

歴代最高順位や区間賞の受賞回数といったデータとともに、
帝京大学の歴史を築き上げたOBのメッセージを紹介する。

この物語の続きを記すのは、現役の手選手である君たち自身だ。

2018年後半～2019年前半の主な大会記録

2018年10月21日(日) 第43回板橋区・高島平ロードレース大会 高島平5km周回コース

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
平田 幸四郎	3	1:00:55	20km登録大学男子	1位	優勝・自己新
中村 風馬	1	1:01:10	20km登録大学男子	2位	準優勝・自己新
岡 智洋	3	1:02:08	20km登録大学男子	6位	入賞・自己新
大塚 瑞季	4	1:02:50	20km登録大学男子	7位	入賞
鳥飼 悠生	2	1:02:55	20km登録大学男子	8位	入賞
郷 明日翔	1	1:03:00	20km登録大学男子	10位	自己新
吉田 亮紀	3	1:03:14	20km登録大学男子	12位	
鈴木 拓	2	1:03:22	20km登録大学男子	14位	自己新
荒木 翼	1	1:06:57	20km登録大学男子	29位	自己新

2018年11月18日(日) 第31回 2018上尾シティハーフマラソン 上尾運動公園陸上競技場発着の上尾市内折り返しコース(埼玉県)

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
星 岳	2	1:02:20	ハーフマラソン	5位	自己新
小森 稜太	3	1:02:34	ハーフマラソン	8位	自己新
鳥飼 悠生	2	1:03:26	ハーフマラソン	18位	自己新
岡 智洋	3	1:03:38	ハーフマラソン	27位	自己新
谷村 龍生	2	1:03:45	ハーフマラソン	35位	自己新
山根 昂希	2	1:03:55	ハーフマラソン	45位	自己新
吉田 律哉	2	1:03:59	ハーフマラソン	48位	自己新
濱川 駿	4	1:04:25	ハーフマラソン	76位	
大塚 瑞季	4	1:04:29	ハーフマラソン	80位	自己新
阿部 有希	4	1:04:39	ハーフマラソン	91位	自己新
吉田 亮紀	3	1:04:55	ハーフマラソン	101位	自己新
田村 岳士	3	1:05:12	ハーフマラソン	120位	
細谷 翔馬	1	1:05:36	ハーフマラソン	147位	
國本 尚希	1	1:05:41	ハーフマラソン	155位	
福島 健斗	2	1:05:47	ハーフマラソン	161位	自己新
井手 優太	4	1:06:08	ハーフマラソン	175位	自己新
高村 敦史	4	1:06:10	ハーフマラソン	176位	自己新
齋藤 慎	4	1:06:27	ハーフマラソン	194位	
新関 友基	4	1:06:35	ハーフマラソン	208位	
渡邊 悠斗	2	1:06:40	ハーフマラソン	212位	自己新
三原 魁人	1	1:07:24	ハーフマラソン	246位	
鈴木 拓	2	1:07:32	ハーフマラソン	257位	自己新
橋高 健一	4	1:07:34	ハーフマラソン	259位	
幸崎 一聖	4	1:07:50	ハーフマラソン	270位	
小林 万修	3	1:07:56	ハーフマラソン	279位	
中江 颯一郎	3	1:08:39	ハーフマラソン	308位	自己新
安立 弘樹	3	1:08:44	ハーフマラソン	311位	
小林 誠	4	1:09:06	ハーフマラソン	328位	
安村 晴樹	1	1:09:08	ハーフマラソン	330位	
荒木 翼	1	1:09:47	ハーフマラソン	353位	
境 勇樹	2	1:21:05	ハーフマラソン	440位	

2018年11月24日(土) 10000m記録挑戦競技会 慶應義塾大学日吉陸上競技場

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
渡邊 悠斗	2	30:05.73	10000m	2組1位	自己新
井手 優太	4	30:24.68	10000m	2組3位	自己新
大塚 瑞季	4	30:35.89	10000m	2組5位	
郷 明日翔	1	30:27.88	10000m	3組9位	
三原 魁人	1	31:26.07	10000m	3組23位	
境 勇樹	2	30:48.06	10000m	4組18位	
小林 誠	4	31:23.95	10000m	4組23位	
新関 友基	4	29:48.28	10000m	5組1位	
岡 智洋	3	29:46.21	10000m	7組4位	自己新
吉田 律哉	2	31:16.97	10000m	7組24位	
細谷 翔馬	1	31:31.40	10000m	7組27位	
鳥飼 悠生	2	29:45.58	10000m	8組1位	自己新
平田 幸四郎	3	29:48.60	10000m	8組4位	
中村 風馬	1	29:51.26	10000m	8組5位	自己新
小野寺 悠	2	29:14.22	10000m	10組2位	自己新
濱川 駿	4	29:32.60	10000m	10組8位	自己新
田村 丈哉	3	29:41.49	10000m	10組13位	自己新
吉野 貴大	3	30:39.88	10000m	10組19位	
島貫 温太	3	28:30.52	10000m	12組3位	自己新・帝京新
横井 裕仁	4	28:32.30	10000m	12組6位	自己新・帝京新
遠藤 大地	1	28:34.88	10000m	12組8位	自己新・帝京新

2019年1月20日(日) 第10回東京・赤羽ハーフマラソン 東京都北区荒川河川敷東京・赤羽ハーフマラソンコース(公認コース)

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
帝京大学		3:19:11	ハーフ大学対抗	第3位	
中村 風馬	1	1:03:45	ハーフマラソン	第1位	優勝
細谷 翔馬	1	1:06:59	ハーフマラソン	第16位	
寺島 溪一	1	1:08:27	ハーフマラソン	第36位	

2019年3月10日(日) 第22回日本学生ハーフマラソン選手権大会 兼 第30回ユニバーシアード競技大会日本代表選手選考競技会 陸上自衛隊立川駐屯地、国営昭和記念公園及びその外周道路

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
岩佐 杏誠	3	1:02:39	ハーフマラソン	第8位	入賞・自己新
島貫 温太	3	1:03:06	ハーフマラソン	第11位	
星 岳	2	1:03:09	ハーフマラソン	第12位	
鳥飼 悠生	2	1:03:10	ハーフマラソン	第13位	自己新
吉野 貴大	3	1:03:11	ハーフマラソン	第14位	自己新
小森 稜太	3	1:03:17	ハーフマラソン	第17位	
中村 風馬	1	1:03:19	ハーフマラソン	第19位	自己新
平田 幸四郎	3	1:03:47	ハーフマラソン	第31位	自己新
山根 昂希	2	1:04:13	ハーフマラソン	第54位	
田村 丈哉	3	1:05:26	ハーフマラソン	第126位	
田村 岳士	3	1:05:29	ハーフマラソン	第131位	
細谷 翔馬	1	1:05:32	ハーフマラソン	第135位	自己新
吉田 律哉	2	1:05:55	ハーフマラソン	第164位	
吉田 亮紀	3	1:06:08	ハーフマラソン	第178位	
寺島 溪一	1	1:06:27	ハーフマラソン	第196位	自己新
國本 尚希	1	1:06:41	ハーフマラソン	第224位	
小林 万修	3	1:06:58	ハーフマラソン	第257位	自己新
郷 明日翔	1	1:07:01	ハーフマラソン	第265位	
橋本 尚斗	1	1:07:10	ハーフマラソン	第279位	自己新
佐藤 拓人	1	1:08:24	ハーフマラソン	第380位	自己新
荒木 翼	1	1:09:15	ハーフマラソン	第439位	自己新
谷村 龍生	2	1:09:40	ハーフマラソン	第473位	
平石 佑馬	1	1:09:41	ハーフマラソン	第475位	自己新
安立 弘樹	3	1:10:24	ハーフマラソン	第519位	
政光 瑛	3	1:10:52	ハーフマラソン	第542位	
安村 晴樹	1	1:12:26	ハーフマラソン	第614位	
境 勇樹	2	1:16:26	ハーフマラソン	第740位	

2019年5月23日(木)～26日(日) 第98回関東学生陸上競技対校選手権大会 相模原ギオンスタジアム・女子美術大学周辺ハーフマラソンコース

■1日目/23日(木)

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
寺島 溪一	2	3:49.75	1500m	予選3組3位	自己新・決勝進出
平田 幸四郎	4	29:23.73	10000m	決勝7位	入賞
小野寺 悠	3	29:43.12	10000m	決勝14位	
吉野 貴大	4	30:09.68	10000m	決勝18位	

■2日目/24日(金)

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
寺島 溪一	2	3:52.08	1500m	決勝5位	入賞

■3日目/25日(土)

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
橋本 尚斗	2	9:08.41	3000mSC	予選1組3位	決勝進出
境 勇樹	3	9:09.23	3000mSC	予選2組3位	決勝進出
田村 丈哉	4	9:09.05	3000mSC	予選3組3位	決勝進出

■4日目/26日(日)

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
中村 風馬	2	1:06:31	ハーフマラソン	決勝11位	
星 岳	3	1:07:06	ハーフマラソン	決勝12位	
小森 稜太	4	1:08:21	ハーフマラソン	決勝23位	
田村 丈哉	4	9:04.77	3000mSC	決勝2位	準優勝
境 勇樹	3	9:09.21	3000mSC	決勝6位	入賞
橋本 尚斗	2	9:26.60	3000mSC	決勝11位	
島貫 温太	4	14:20.78	5000m	決勝9位	
遠藤 大地	2	14:33.09	5000m	決勝12位	
岩佐 杏誠	4	14:44.13	5000m	決勝17位	

2019年6月8日(土) 2019 日本学生陸上競技個人選手権大会 Shonan BMW スタジアム平塚

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
谷村 龍生	3	14:09.44	5000m	2組4位	TR決勝総合4位入賞



北島吉章
1999年度 3区 1:03:16
2000年度 3区 1:07:45



西村知修
2010年度 4区 54:34



星岳
2018年度 10区 1:09:57

数字でわかる 箱根駅伝の軌跡

2018年度で箱根駅伝出場20回目を迎えた帝京大学駅伝競走部。歴代最高となる総合順位や区間賞の受賞回数など、箱根駅伝を中心としたさまざまな記録をエピソードとともに紹介する。

文=美山高宏 (threelight) 写真=月刊陸上競技

区間賞 3名が受賞

区間賞はこれまで3名が受賞している。まずは1999年度、2000年度と2年連続で3区の北島が受賞した。2010年度の西村は4区の区間記録を30秒上回る54:34で、区間新記録をマークした。総合15位から7人を抜き去って、総合8位に順位を押し上げるゴボウ抜き快走だった。2018年度の10区・星の活躍は記憶に新しい。スピードに乗って國學院大学、法政大学を抜いて、総合5位に食い込んだ。

大学四年間の タイム伸び率 2位



たとえ高校時代に目立った実績がなくても、大学四年間に才能を開花させていく選手が多いことから、「育成の帝京」と称される帝京大学。『月刊陸上競技』が主要24校を対象に、「卒業時の10,000mの上位5名の平均記録」と「入学時の5,000mの上位5名の平均記録」をもとに調査した「大学四年間の伸び率ランキング」*では、2位にランクインした。これはダイヤの原石を見抜く中野監督のスカウティング力と選手育成力はもちろん、陸上競技場や帝京大学スポーツ医科学センターなどの練習環境が充実していることも大きいだろう。

*『月刊陸上競技』2019年4月号より引用。2018年度の箱根駅伝に出場した22校に加え、過去5年で箱根駅伝出場経験がある創価大学、その他の大学で最も大学入学時の5,000mの平均持ちタイムが良かった東京農工大学の計24校が対象。

入学時の5,000mタイム上位5名

1	竹下 凱	14:23.25
2	大塚 瑞季	14:30.57
3	齋藤 慎	14:32.81
4	新関 友基	14:35.84
5	畔上 和弥	14:36.51

卒業時の10,000mタイム上位5名

1	横井 裕仁	28:32.30
2	畔上 和弥	28:41.68
3	竹下 凱	29:09.66
4	濱川 駿	29:32.60
5	新関 友基	29:38.44

*いずれも2018年度卒業生が調査対象

歴代 最高順位 総合 4位 (1999年度、2012年度)

帝京大学の総合順位の変遷



※2005年度、2006年度は不出場
※太線はシードライン



仲間を迎えられるアンカーの安生充宏 (1999年度)



チームメイトと抱き合う熊崎健人 (2012年度)

帝京大学の歴代最高順位は1999年度と2012年度に記録した4位だ。帝京大学は97年度に箱根駅伝に初出場し、2年連続で最下位と辛酸をなめた。出場3回目となる99年度は、入学後に大きく力をつけた3区の北島が好走し、帝京大学初となる区間賞を受賞。4区の鎌浦が法政大学を抜いて、一時トップに躍り出るなど、箱根駅伝に「ファイヤーレッドの旋風」を巻き起こした。

2012年度は並み居る伝統校・強豪校を相手に、往路を7位で折り返したことが、復路のメンバーに自信をもたらした。総合5位で10区の熊崎にたすきをつなぐと、前を走っていた早稲田大学に追いつき、けん制し合う展開に。中野監督から檄が飛ぶ中、ラスト100m付近で勝負をかける。そして、全力の猛ダッシュで早稲田大学との一騎打ちを制して、総合4位となった。

「雑草集団」の系譜

撮影=川本 聖哉 構成=柴山 高宏 (threelight)



(左から)青葉貴幸(1997~1999年度主務)、佐藤凌平(2017~2018年度主務)、高岡尚司(2001年度主務、2005~2016年度チームコンディショニングサポート)、宮田一平(2008~2009年度主務)

2018年度で箱根駅伝出場20回目を数える、帝京大学駅伝競走部。初出場した1997年度のチーム、歴代最高位となる4位を記録した99年度のチーム、常連校としてさらなる飛躍が期待される近年のチームなど、幅広い世代のOBが集い、箱根駅伝について語り合った。

総合優勝が現実味を帯びる

青葉・2018年度の箱根駅伝を観てどう思った？
高岡・ここまで明らかに優勝が視野に入ってきたチームはなかったよ。結果は総合5位だけど、展開次第では優勝してもおかしくなかったと思う。
佐藤・私も優勝のチャンスは十分にあると思っていました。みんな優勝校が出演する、テレビ番組のことで冗談を言い合えるくらい、戦力的には充実していました。
青葉・帝京大学は1999年度、12年度の2回、総合4位になっているけど、優勝までは意識していなかった。18年度は、はじめて優勝が期待されたチームだったと思う。
宮田・印象に残った選手は誰でしたか？
高岡・6区の鳥貴かな。往路で9位とビハインドの状態、かつ復路の流れを決める重要な局面で決めてくれた。これで勢いに乗ると思っただけ。
青葉・1区の竹下の走りは、チームの士気を大きく高めてくれたね。最後まで先頭争いをしながら、2区につなげたおかげで、「今年も戦える！」という空気を醸成できた。立派に大役を果たしてくれたと思う。
佐藤・区間賞をとった10区の星に注目が集まりがちですが、私は9区の小森の健闘を称えてあげたいです。前年度より2分近く速いタイムでゴールし、前との差を着実に詰めてくれた彼の頑張りには、見逃せないです。
宮田・私は3区の速藤ですね。彼のインパクトは凄かったです。とも1年生とは思えない、大仕事をしてくれたと思います。
佐藤・来年度は、18年度の箱根駅伝のメンバーのうち、7名が残ります。期待したいですね。
高岡・これは本当に大きい。箱根駅伝の総合優勝が、いよいよ現実味を帯びてきたね。

3回目の出場で総合4位に

高岡・帝京大学は2018年度で箱根駅伝出場20回目になったけど、これまでのどのレースが印象に残っている？
青葉・やっぱり、はじめて総合4位になった99年度かな。予選会の結果に手ごたえを感じて、総合5位をめざしていたけど、それ以上の結果を残せた。
高岡・しかも、途中でトップになっ

たよね。あれには驚いたな。

青葉・初出場した97年度も忘れられない。誰も箱根駅伝を経験したことがない、完全にゼロからのスタートで、ここまで到達したからね。

高岡・私は2007年度、中野監督が就任して、はじめてシード権をとったときかな。当時のエース・馬場がけがで不在の中、主将の田部を中心によくまとまっていた。泥臭い感じが、とても帝京大学らしかったな。

宮田・私は四年生のとき(2009年度)のレースですね。ずっとダメだと言われてきた四年生が、復路の6区、9区、10区でそれぞれ4位、3位、5位でゴールし、往路の結果をカバー。総合11位でシード権は逃したけど、報われた瞬間でした。

佐藤・私は2016年度に総合11位でシード権を確保できなかったときですね。結果こそ振るわなかったけど、中野監督が長年かけて築き上げた土台が整い、いい選手も入ってくるようになって、私たちもできるんだと手ごたえを感じました。

泥臭さこそ、帝京らしさ

青葉・今も昔も変わらない、帝京大学らしさって何だと思う？
高岡・いい意味で上下関係がないことかな。古臭い伝統もなく、

「後輩の活躍は、私たちの誇りです。」(宮田一平)

自由にできるから、力を発揮しやすい環境だと思うよ。

佐藤・みんな箱根駅伝を盛り上げようとする思いが強いところもいいですね。その代表格が、同期の阿部(18年度卒)で、彼は18年11月に行われた日本体育大学の競技会で、5,000mを14分14秒で走ったんです。箱根駅伝のメンバーではなかったですが、「僕はこの持ちタイムで、チームを盛り上げていくから」と言ったのが印象的でした。

宮田・雑草魂の持ち主が多いところは、帝京大学らしさですね。この泥臭い感じ、今も昔も変わらない気がします。他には、エリートよりもたき上げが多いこと。実際、帝京大学は入学時と卒業時のタイム差が大きくて、これは中野監督の指導のためだと思います。

高岡・中野監督の指導は日々、アツプアットされていくよね。世代によって変わる学生の特徴をつかんで、自らフィットしていく。そして、学生たちを上手に生かす方法を模索していく。これは凄いことだと思うよ。
佐藤・中野監督は選手一人ひとりを本当によく見てくれます。しかも分け隔てなく、あらゆる選手に話しかけるんです。
高岡・次は箱根駅伝で総合優勝して、中野監督が泣くところを見てみたいね。

青葉・それはOBの誰もがそう思っているよね。もちろん、優勝が簡単なことではないのはわかっているけど、それが現実味を帯びているのも事実。さらなる活躍に期待しよう。
宮田・そうですね。後輩の活躍は、私たちの誇りですから。



2002年度

総合13位 タイム 11:20:17
(優勝校 駒澤大学 タイム 11:03:47)

往路 15位 タイム 5:40:56
復路 8位 タイム 5:39:21



2区・飛松誠から3区・小藤敬司への中継

私が帝京大学に在学していた1999年から2003年は、箱根駅伝初出場から常連校へ変わるうとしていた時代であり、伝統を築き上げていく過程だったと思います。

私は4年連続で箱根駅伝に出場しました。一年生のときは予選会をチームの総合力で突破し、本戦では歴代最高となる4位でゴール。以降、2年連続でシード権を獲得したのですが、キャプテンとなって臨んだ最後の箱根駅伝は総合13位に。シード権を獲得することができませんでした。このように、予選会から本戦へと、箱根駅伝の常連校、伝統校ではまず味わえない、とても貴重な経験ができた4年間

くためには、どうしても彼らの力が必要になります。そこで私は根気よく連絡をとり続け、12月に入ってようやく四年生全員がチームに合流。本戦を共に戦えたことは、主将をやっている本当によかったと思っただけ瞬間です。

大学4年間を通して、メリハリの大事さを一番学んだ気がします。頑張りすぎてもダメだし、やる時はやっ、休むときは休む。当たり前のことかもしれませんが、社会人になった今でもそれは生きています。4年間しかない貴重な大学生活の中で、自分で考え、いろいろなることにチャレンジしてください。

(2000年度主将 鎌浦淳二)

箱根駅伝初出場から常連校へと進化 チーム全員で伝統を築き上げていく

でした。

箱根駅伝のメンバーに加わるには、チームメイト全員がライバルとなります。ある程度の競争意識は必要ですが、仲間意識も必要です。一人の実力では成し遂げられないことでも、仲間の協力があれば達成できることがあるからです。そして、箱根駅伝に挑むためには、チーム全員で意識を高め合うことが重要になります。

学生の皆さんには、大学生活の4年間を悔いのないよう、全力で取り組んでほしいと思います。授業にもしっかりと出席して、部員以外の交流も積極的に行ってください。

(2002年度主将 飛松誠)

2000年度

総合7位 タイム 11:28:34
(優勝校 順天堂大学 タイム 11:14:05)

往路 6位 タイム 5:48:55
復路 12位 タイム 5:39:39



4区・鎌浦淳二

区間賞
3区(戸塚〜平塚 21.3km) 北島吉章 1:07:45

1999年度に歴代最高位となる総合4位になったことを受け、2000年度は総合3位という目標を掲げました。しかし、選手がフレッシュャーを感じたこともあって、箱根駅伝では思うように流れを作って戦うことができませんでした。

私個人として今でも思い出に残っていることは、主将なのに結果が出せずに苦しんでいたとき、同期から「チームのことより、まずは自分の走りに集中しろ」と言われたことです。その一言で私は救われ、結果、四年連続で箱根駅伝に出場できました。

また、就職活動で練習から離れる四年生が多かったのですが、チームとして箱根駅伝を戦い抜

総合3位をめざして四年生全員が結集 箱根駅伝をチーム一丸となって戦い抜く

くためには、どうしても彼らの力が必要になります。そこで私は根気よく連絡をとり続け、12月に入ってようやく四年生全員がチームに合流。本戦を共に戦えたことは、主将をやっている本当によかったと思っただけ瞬間です。

大学4年間を通して、メリハリの大事さを一番学んだ気がします。頑張りすぎてもダメだし、やる時はやっ、休むときは休む。当たり前のことかもしれませんが、社会人になった今でもそれは生きています。4年間しかない貴重な大学生活の中で、自分で考え、いろいろなることにチャレンジしてください。

(2000年度主将 鎌浦淳二)

2003年度

総合14位 タイム 11:28:21
(優勝校 駒澤大学 タイム 11:07:51)

往路 10位 タイム 5:42:56
復路 17位 タイム 5:45:25

2003年度の箱根駅伝は80回目の記念大会で、予選会は芦ノ湖畔の特設コースで開催されました。コースの距離は16.3kmと例年に比べれば短いですが、コース幅は狭く、さらにアップダウンが非常に多い、難しいコースでした。そんな中、総合4位で通過できたことはとてもうれしいことでした。

本戦では、1区中尾が3位と最高のスタートを切れたものの、2区以降で力及ばず。徐々に順位を下げ、20チーム中総合14位でゴールしました。充実した夏を過ごし、秋の記録会で自己ベストを記録した選手が多いなど、チーム状況はとても良かったのですが、10月の予選会と1月の

箱根駅伝80回目の記念大会 2区以降で力及ばず総合14位に



6区・清野祥啓

本戦にピークを持ってくることの難しさを多くの選手が実感。私自身予選会も箱根本戦(6区)も走るだけで精いっぱいでした。私が練習時に大切にしていたのは、「けがをしないこと」「体調を崩さないこと」の2点です。練習後のケアに多くの時間をとっていたおかげで、大きなけがをすることがなく練習を継続することができ、箱根駅伝を3度走ることができました。

大学4年間で学んだことは「想いは形になる」ということです。4年間で自分がどう成長したのかを思い描きながら、充実した日々を過ごしてください。

(2003年度主将 清野祥啓)

2001年度

総合8位 タイム 11:21:39
(優勝校 駒澤大学 タイム 11:05:35)

往路 7位 タイム 5:42:26
復路 10位 タイム 5:39:13



2区・中崎幸伸

「大きな夢の分だけ汗をかく」 切磋琢磨しながら豊富な練習をこなす

先輩方の箱根駅伝に対する思いを感じながら、一人ひとりが本戦で走ることを目標に、強い気持ちと緊張感をもって努力してきました。練習量は多く、当時は南大沢の陸上競技場まで片道7kmをアップで、帰りは7kmをダウンで帰ってきたり、小野路のクロスカントリーコースも往復10kmを走りながら、コースを30km走るといったことを普通にこなしていました。今では考えられないですね(笑)。

私は「大きな夢の分だけ汗をかく」をモットーに、仲間たちと切磋琢磨しつつ、前述の豊富な練習をこなしてきたおかげで、4年間すべて箱根駅伝に出場することができました。箱根駅伝

をめぐす上で、高校3年間を共に過ごし、共に帝京大学に進学したマネージャーの本田の存在が支えになりました。また、同期の北島と谷川は良きライバルであると同時に、大切な仲間でもありました。

箱根駅伝をめざして努力した結果は、人生においてきつと役立つときが現れます。学生の皆さんは、「これからの自分は、今の自分がつくる」ことを忘れずに、今やるべきことを全力で、本気で取り組んでください。

母校の頑張りには、私たちOBはもちろん、応援しているすべての人にとっての希望であり活力の源です。頑張ってください。

(中崎幸伸)

2006年度

箱根駅伝予選会12位で敗退
(優勝校 順天堂大学 タイム 11:05:29)

馬場圭太(関東学生連合選抜)
9区 タイム 1:15:17



9区・馬場圭太(関東学生連合選抜)

私が入学してすぐに喜多監督が退任。チームも箱根駅伝の出場を逃すというどん底の状態でした。「来年こそは!」という雰囲気にもなかなかならず、チーム内は半ば諦めムードが蔓延していたように感じます。

このような状況で、私は幸いにも二年時に学連選抜として箱根駅伝を走る機会に恵まれ、その楽しさをチームメイトより一足早く経験することができました。そして次こそはチームで出場したいという気持ちを、言葉と走り伝えてきました。

そして3大駅伝全ての出場を決めた2008年度は、私にとってけがで出走が叶わなかった2007年度の箱根駅伝の悔し

箱根駅伝を走る喜びを伝えたい!
どん底のチームに差す一筋の光に

さを晴らす年でもありません。私は華の2区を走りました。ですが、実際に任されたのは4区。最初は納得がいきませんでした。最初は、必ず区間賞をとろうと自分に言い聞かせました。結果は区間新で区間2位。チームに貢献できたものの、総合順位は20位。私が帝京大学のたすきをかけて走った最初で最後の箱根駅伝は、少し悔いが残る大会となりました。

箱根駅伝を走るために長崎から上京した私は、たくさんの挫折を経験しました。心が折れそうになったときもありましたが、先輩、後輩、そして同期に支えられて、4年間を過ごすことができました(馬場圭太)

2004年度

総合16位 タイム 11:25:03
(優勝校 駒澤大学 タイム 11:03:48)

往路18位 タイム 5:46:23
復路13位 タイム 5:38:40



2区・戸村将幸

2004年度の箱根駅伝の予選会では、10位と4秒差のギリギリ9位で本戦の出場権を獲得。キャプテンだった私は、みんなに「本戦で大暴れしてやるうぜ!」と、鼓舞しました。

本戦では2区を走りました。いい流れを作ろうと意気込んでいましたが、本来の走りができず、足を引っ張る形に。その後も悪い流れを断ち切ることができず、結果は16位。後輩にシード権をプレゼントして卒業したかったのですが、それができず、悔しい結果に終わりました。

帝京大学は一年生から四年生まで仲が良く、四年生を中心にまとまりがあります。駅伝はチームで取り組むスポーツなの

「本戦で大暴れしてやるうぜ!」
紙一重の戦いを制して箱根路へ

で、私たちはスランプ中の選手をフォローするなど、チーム全体の底上げを意識した練習に取り組んできました。

そんな学生時代で学んだことは、チームワークの大切さです。仕事も駅伝も、協調性を持たないと、やり遂げることはできません。まずは自ら考え、自分の意識を変えた上で実行に移さないと何も変わらないことを、駅伝を通して学びました。

学生の皆さんは、家族や恩師、友人への感謝の気持ちを忘れないうでください。たくさん人の支えがあって、応援してくれたから今の自分がいることを、忘れないでください。
(2004年度主将 戸村将幸)

2007年度

総合8位 タイム 11:16:48
(優勝校 駒澤大学 タイム 11:05:00)

往路12位 タイム 5:40:34
復路5位 タイム 5:36:14

2年連続の予選会敗退を経て2007年度ようやく箱根路に復帰できました。このときから、連続出場記録が続いていることをうれしく思います。

同年度の予選会はメディアの予想を覆して、2位で本戦の出場権を獲得。優勝したわけでもないのに、中野監督を胴上げしたことを思い出します。また、主力2名を欠いた状態で通過できたので、チームの総合力がアップしたことを実感しました。

本戦は、予選会チームトップの馬場を故障で欠くことになりましたが、往路は12位とシード権がねらえる位置で、粘りのレースを展開。復路は6区・赤木7区・西村が好走し、後を走る

2年連続の予選会敗退を経て
ようやく箱根駅伝本戦に復帰



10区・田部貴之

四年生にすぎました。私は10区を走りました。同期の小田から10位でたすきを受け取ったときは、プレッシャーを感じました。しかし、いざ走り始めると、頭は冷静に、気持ち強気で必死に前のチームを追う走りことができました。結果は総合8位。シード権を獲得してフィニッシュテープを切れたことが、今でも私の誇りです。

私たちが歩んできた道のりは、平坦ではありません。だからこそ、何事も諦めないことが、最後に大きな喜びと感動を与えてくれることを学びました。中野監督やコーチ、仲間を信じて、これからも精進してください。
(2007年度主将 田部貴之)

2005年度

箱根駅伝予選会12位で敗退
(優勝校 亜細亜大学 タイム 11:09:26)

中尾誠宏(関東学生連合選抜)
1区 タイム 1:04:30



1区・中尾誠宏(関東学生連合選抜)

1区を走った選手にしかわからない
六郷橋で繰り広げられる「静かな戦い」

入学当初14名いた私の代の選手は、年を追うごとに減っていき、最終的には主務を含めて5名に。さらに、四年目の春に喜多監督が退任して監督が不在になるなど、チーム的には危機的状況にありました。そんな中でも部内の雰囲気は不思議と明るく、主務と村上コーチが苦勞しながら合宿や練習メニューを計画してくれたおかげで、選手たちはモチベーションを維持しながら、箱根駅伝の予選会に挑めることができました。

四年時は箱根駅伝の予選落ちというとても悔しい結果に終わりましたが、個人的には四年間(学連選抜含む)1区を走ることができ、とても貴重な経験を

させてもらいました。1区と言えば、スタートから続く大歓声が多摩川にかかる六郷橋で止み、テレビでは感じ取れない「静かな駆け引き」による戦いがあった。毎年鳥肌を立てながら残り3kmを迎えていました。四年間、1区を無事に走り抜いて、2区の走者にたすきをつなげられたことは私の誇りであるし、支えてくれた関係者の方々には今でも感謝にたえません。

今振り返ってみると、帝京大学で過ごした四年間は社会人としての土台を築く上で、とても重要だったと思います。学生の皆さんは日々を充実させ、共に過ごした仲間と笑って卒業してください。
(中尾誠宏)

2013年度

総合8位 タイム 11:13:03
(優勝校 東洋大学 タイム 10:52:51)

往路 12位 タイム 5:39:23
復路 5位 タイム 5:33:40



3区・難波幸貴

箱根駅伝は長距離ランナーにとって夢の舞台です。高校時代、実績を挙げられなかった私は、練習の際に箱根駅伝を走る自分の姿を思い浮かべて、モチベーションを高めていました。帝京大学は負けず嫌いが多くチームで、一年生のときに見た先輩たちの姿をモデルに、チームメイトをリードしていこうと、必死になっていました。

私は箱根駅伝に4年間出場することができました。当時の四年生がとも強くて、彼らの背中を追いかけていくうちに、私にも自然と力がついてきました。箱根駅伝では、練習の成果を全然発揮できませんでした。これまでで最も悔いが残るレースでしたが、走り終わったときに会いに来てくれた母親の目には涙が箱根駅伝をめざして努力をしてきて良かったと思うと同時に、もう来年度に向けて意識を切り替えていました。

**強い先輩の背中を追いかけて実力を錬成
夢の箱根駅伝に4年間出場し続ける**

2014年度

総合11位 タイム 11:13:30
(優勝校 青山学院大学 タイム 10:49:27)

往路 16位 タイム 5:39:18
復路 9位 タイム 5:34:12



2区・柳原貴大

**選手とのコミュニケーションを大切に
一人ひとりの考えを尊重することを意識**

私が箱根駅伝を走ったのは、三年生と四年生のときです。結果はそれぞれ、区間15位と区間16位で、チームの足を引っ張る形となってしまいました。

私が箱根駅伝を走った2年間でとりわけ印象深いのは、三年生のときに1区を走ったことです。2013年度の箱根駅伝は第90回の記念大会ということで、例年よりも3チーム多い23チームが出場。たくさん選手に囲まれ、とても緊張したことを覚えています。さらに、同じ区間を走った選手は現在、実業団やプロとして活躍している選手ばかり。そういった意味でも、とても印象に残っています。

私は四年生になると、主将に

就任しました。結果から見ると、全日本大学駅伝の予選落ちや、箱根駅伝のシード権争いにも敗れるなど、惨敗の年でした。ただ、その中で私が意識していたのは、チームメイトとのコミュニケーションでした。強い選手、弱い選手関係なく、一人ひとりの考えをしっかりと聞くことを、最優先にしていました。

近年の帝京大学は、どの大会でも素晴らしい結果を残していますが、OBである私もうれしく思います。今の恵まれた練習環境や、自分に携わってくれる方々の存在を当たり前と思わず、毎日全力で過ごしてほしいと思います。

(2014年度主将 柳原貴大)

2012年度

総合4位 タイム 11:21:39
(優勝校 日本体育大学 タイム 11:13:26)

往路 7位 タイム 5:46:27
復路 3位 タイム 5:35:12



2区・姥名聡勝



9区・山川雄大

「タフネス」を十分に発揮

第89回箱根駅伝が行われた2日間は、強風が吹き荒れました。まさに、私たちの持ち味である「タフネス」が発揮できる、格好の舞台でした。2012年度の目標は総合5位。私の走る9区には5位という理想的な流れでたすきがつながりました。後から追い上げてきた駒澤大学には抜かされましたが、明治大学を抜き、5位のまま10区へとつなぎました。その後、早稲田大学を抜き、帝京大学最高位タイの4位でゴールしました。

走りきった後は安堵の気持ちとともに、抜かされた駒澤大学の選手には持ちタイム以上の差をつけられてしまったので、優勝をねらっているチームと5位をねらっているチームの差を感じました。ただ、数年間シード権からも遠ざかってきた私たちにとっては、5位でも強豪校がめざす優勝と同様の難易度があり、達成の喜びがありました。

最高順位の更新めざす

私が三年時の箱根駅伝で、歴代最高位タイとなる総合4位の結果を残し、最後の箱根駅伝はさらに上の順位をめざしました。

私は2013年の日本学生ハーフマラソン選手権で優勝し、ユニバーシアードの出場権を獲得。良い流れで新たなスタートを切ることができたのですが、その後が大変でした。

右脚に強い痛みを感じ、検査で脛骨疲労骨折が判明。ユニバーシアードはギリギリの状態で行くことができたのですが、今度は



2区・姥名聡勝

本戦では7区を走りました。私にたすきが渡った時点の総合順位は12位。シード権を獲得するため、必死に前を追いかけた結果、区間4位でゴールすることができました。

2017年度

総合9位 タイム11:13:26
(優勝校 青山学院大学 タイム10:57:39)

往路 12位 タイム5:34:47
復路 6位 タイム5:38:39



6区・横井裕仁から7区・佐藤諒太への中継

2016年度の箱根駅伝でシード権を獲得できなかったのは、5区を任された私のプレースキが原因だと、責任を感じていました。それもあって、人一倍練習に時間を費やしました。そのおかげで、2017年度の箱根駅伝の予選会では、良い結果を残すことができました。本戦では寸前でコンディションが悪化するものの、今までの積み重ねのおかげで区間8位に抑えられ、チームもシード権を獲得することができました。

予選会では、四年生が中心となつて集団走を行ったことが2位での通過につながり、本戦に向けて期待感が高まりました。一方、個人としては想定していたタイムで走れず、それが原因で1位通過を逃してしまったため、非常に悔しい思いをしました。本戦では最後の箱根駅伝を、心から楽しんで走ることができました。チームとしては、シード権こそ確保できましたが、総合順位は10位で、満足のいく結果にはなりませんでした。私は主将として、出場するレースの結果はもちろん、日常生活や普段の練習でもチームの見本になれるよう、取り組んできました。

**恩師の言葉に目覚め、箱根駅伝本戦へ
駅伝で学んだ努力を積み重ねる大切さ**

2016年度の箱根駅伝でシード権を獲得できなかったのは、5区を任された私のプレースキが原因だと、責任を感じていました。それもあって、人一倍練習に時間を費やしました。そのおかげで、2017年度の箱根駅伝の予選会では、良い結果を残すことができました。本戦では寸前でコンディションが悪化するものの、今までの積み重ねのおかげで区間8位に抑えられ、チームもシード権を獲得することができました。

2015年度

総合10位 タイム11:15:21
(優勝校 青山学院大学 タイム10:53:25)

往路 9位 タイム5:36:36
復路 11位 タイム5:38:45



2区・高橋裕太

**予選会は集団走が奏功し2位通過
本戦は総合順位10位でシード権確保**

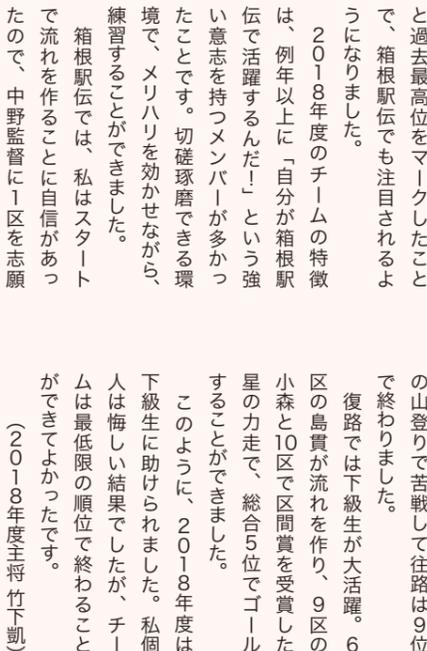
2015年度の箱根駅伝の予選会では、四年生が中心となつて集団走を行ったことが2位での通過につながり、本戦に向けて期待感が高まりました。一方、個人としては想定していたタイムで走れず、それが原因で1位通過を逃してしまったため、非常に悔しい思いをしました。本戦では最後の箱根駅伝を、心から楽しんで走ることができました。チームとしては、シード権こそ確保できましたが、総合順位は10位で、満足のいく結果にはなりませんでした。私は主将として、出場するレースの結果はもちろん、日常生活や普段の練習でもチームの見本になれるよう、取り組んできました。

予選会では、四年生が中心となつて集団走を行ったことが2位での通過につながり、本戦に向けて期待感が高まりました。一方、個人としては想定していたタイムで走れず、それが原因で1位通過を逃してしまったため、非常に悔しい思いをしました。本戦では最後の箱根駅伝を、心から楽しんで走ることができました。チームとしては、シード権こそ確保できましたが、総合順位は10位で、満足のいく結果にはなりませんでした。私は主将として、出場するレースの結果はもちろん、日常生活や普段の練習でもチームの見本になれるよう、取り組んできました。

2018年度

総合5位 タイム11:03:10
(優勝校 東海大学 タイム10:52:09)

往路 9位 タイム5:33:30
復路 3位 タイム5:29:40



1区・竹下凱

2018年度の箱根駅伝は総合11位という結果に終わってしまいました。私は10区を走りました。前との差は1分以内の11位でたすきをもらったので、シード権圏内だったので、逆にならなりました。追いつきたいという気持ちとは裏腹に、足が地面から離れないような感覚でした。今でもそのときのことを思い出すと、悔しさがこみ上げてきます。改めて、箱根駅伝が私にとってとても大きな存在で、多大な影響を与えたことを痛感しています。

私たちが代が入学したときに、中野監督から「君たちが四年生になったとき、箱根駅伝で優勝争いをしよう」と言われました。そして四年生になって、出雲駅伝、全日本大学駅伝で5位と過去最高位をマークしたことで、箱根駅伝でも注目されるようになった。2018年度のチームの特徴は、例年以上に「自分が箱根駅伝で活躍するんだ」という強い意志を持つメンバーが多かったことです。切磋琢磨できる環境で、メリハリを効かせながら、練習することができました。箱根駅伝では、私はスタートで流れを作ることには自信があったので、中野監督に1区を志願

**本気で優勝争いをするために切磋琢磨
復路での目覚ましい快走で総合5位に**

私たちが代が入学したときに、中野監督から「君たちが四年生になったとき、箱根駅伝で優勝争いをしよう」と言われました。そして四年生になって、出雲駅伝、全日本大学駅伝で5位と過去最高位をマークしたことで、箱根駅伝でも注目されるようになった。2018年度のチームの特徴は、例年以上に「自分が箱根駅伝で活躍するんだ」という強い意志を持つメンバーが多かったことです。切磋琢磨できる環境で、メリハリを効かせながら、練習することができました。箱根駅伝では、私はスタートで流れを作ることには自信があったので、中野監督に1区を志願

2016年度

総合11位 タイム11:20:24
(優勝校 青山学院大学 タイム11:04:10)

往路 11位 タイム5:40:06
復路 12位 タイム5:40:18



10区・加藤勇也

**つながりと思いやりがチーム力を高める
箱根駅伝を通して学んだ仕事の本質**

2016年度の箱根駅伝は総合11位という結果に終わってしまいました。私は10区を走りました。前との差は1分以内の11位でたすきをもらったので、シード権圏内だったので、逆にならなりました。追いつきたいという気持ちとは裏腹に、足が地面から離れないような感覚でした。今でもそのときのことを思い出すと、悔しさがこみ上げてきます。改めて、箱根駅伝が私にとってとても大きな存在で、多大な影響を与えたことを痛感しています。

私たちが代が個人的な選手が多かったことが特徴です。走りにもそれが顕著に現れ、はまると凄いい走りをする選手がたくさんいます。私たちが代が個人的な選手が多かったことが特徴です。走りにもそれが顕著に現れ、はまると凄いい走りをする選手がたくさんいます。



1区・竹下凱

区間賞
10区(鶴見~大手町 23.0km) 星岳 1:09:57

帝京大学歴代記録 箱根駅伝

年度	回	チーム成績			1区		2区		3区		4区		5区		6区		7区		8区		9区		10区														
		総合	往路	復路	選手	時間	選手	時間	選手	時間	選手	時間	選手	時間	選手	時間																					
1997	74	総合	15	11:38:52	菅田 学 2	桑山 和久 3	菅野 利哉 1	佐藤 重俊 2	小川 直也 1	斉藤 剛毅 3	鎌浦 淳二 1	山口 徳之 3	芳養 孝之 3	西田 一夫 4	往路	15	5:52:34	14	1:06:37	15	1:13:03	13	1:07:42	14	1:07:32	15	1:17:40	11	1:02:33	15	1:09:46	9	1:08:35	15	1:16:01	14	1:09:23
		復路	14	5:46:18			15	2:19:40	15	3:27:22			15	8:04:53	15	10:29:29	15	11:38:52						15	4:34:54	15	5:52:34	15	6:55:07	15	8:04:53	15	9:13:28	15	10:29:29	15	11:38:52
		総合	15	11:40:45	吉富 武宏 3	中崎 幸伸 1	市川 英樹 3	鎌浦 淳二 2	小川 直也 2	安生 充宏 3	北島 吉章 1	佐藤 重俊 3	喜多 健一 2	芳養 孝之 4	往路	14	5:50:05	15	1:05:45	11	1:11:24	15	1:07:27	13	1:08:17	12	1:17:12	14	1:03:04	15	1:08:40	7	1:08:47	10	1:13:07	14	1:17:02
1998	75	復路	14	5:50:40			13	2:17:09	15	3:24:36			15	10:23:43	15	11:40:45								15	4:32:53	14	5:50:05	15	6:53:09	15	8:01:49	15	9:10:36	14	10:23:43	15	11:40:45
		総合	4	11:16:48	谷川 嘉朗 2	中崎 幸伸 2	北島 吉章 2	鎌浦 淳二 3	飛松 誠 1	佐竹 恵一 2	吉富 武宏 4	市川 英樹 4	喜多 健一 3	安生 充宏 4	往路	3	5:34:52	6	1:03:49	6	1:10:07	1	1:03:16	6	1:04:03	6	1:13:37	9	1:01:40	7	1:05:38	4	1:07:10	8	1:13:12	11	1:14:16
		復路	7	5:41:56			5	2:13:56	2	3:17:12			2	4:21:15	3	5:34:52	4	6:36:32	4	7:42:10	4	8:49:20	4	10:02:32	4	11:16:48											
1999	76	総合	7	11:28:34	中崎 幸伸 3	谷川 嘉朗 3	北島 吉章 3	鎌浦 淳二 4	飛松 誠 2	清野 祥啓 1	小川 直也 4	野尻浩太郎 4	喜多 健一 4	村野 真一 2	往路	6	5:48:55	9	1:03:54	5	1:10:01	1	1:07:45	5	1:08:22	14	1:18:53	10	1:01:24	11	1:05:49	7	1:06:20	13	1:13:12	7	1:12:54
		復路	12	5:39:39			5	2:13:55	4	3:21:40			5	4:30:02	6	5:48:55	6	6:50:19	6	7:56:08	6	9:02:28	8	10:15:40	7	11:28:34											
		総合	8	11:21:39	北島 吉章 4	中崎 幸伸 4	飛松 誠 3	谷川 嘉朗 4	秋山 新吾 2	佐竹 恵一 4	清野 祥啓 2	戸村 将幸 1	小鹿 敬司 3	桐谷 圭 2	往路	7	5:42:26	8	1:04:36	7	1:09:08	5	1:05:36	6	1:04:18	12	1:18:48	14	1:02:49	8	1:05:21	11	1:07:42	8	1:11:27	6	1:11:54
2000	77	復路	10	5:39:13			7	2:13:44	5	3:19:20			4	4:23:38	7	5:42:26	9	6:45:15	8	7:50:36	8	8:58:18	8	10:09:45	8	11:21:39											
		総合	13	11:20:17	中尾 誠宏 1	飛松 誠 4	小鹿 敬司 4	秋山 新吾 3	中尾 勇生 1	光本 健吾 4	井上泰加彦 2	佐藤 拓也 1	桐谷 圭 3	東山 毅 2	往路	15	5:40:56	18	1:05:18	13	1:10:33	15	1:05:38	10	1:04:17	15	1:15:10	6	1:00:59	8	1:06:02	3	1:06:29	13	1:12:14	13	1:13:37
		復路	8	5:39:21			13	2:15:51	14	3:21:29			14	4:25:46	15	5:40:56	15	6:41:55	12	7:47:57	10	8:54:26	13	10:06:40	13	11:20:17											
2001	78	総合	14	11:28:21	中尾 誠宏 2	戸村 将幸 3	佐藤 拓也 2	井上泰加彦 3	坂口 大助 3	清野 祥啓 4	角 裕 2	白石 利治 3	斉藤 昌宏 4	東山 毅 3	往路	10	5:42:56	3	1:03:23	17	1:11:57	8	1:05:43	17	1:06:41	9	1:15:12	19	1:03:05	17	1:07:43	18	1:09:20	9	1:11:35	16	1:13:42
		復路	17	5:45:25			11	2:15:20	10	3:21:03			14	4:27:44	10	5:42:56	13	6:46:01	14	7:53:44	15	9:03:04	13	10:14:39	14	11:28:21											
		総合	16	11:25:03	中尾 誠宏 3	戸村 将幸 4	百武 宗親 3	東山 毅 4	坂口 大助 4	黒木 文太 2	宗 洋和 4	船越 健二 3	井上泰加彦 4	白石 利治 4	往路	18	5:46:23	9	1:03:24	19	1:12:39	16	1:06:09	19	1:07:42	18	1:16:29	11	1:01:00	11	1:06:27	18	1:08:04	7	1:10:53	14	1:12:16
2002	79	復路	13	5:38:40			17	2:16:03	18	3:22:12			18	4:29:54	18	5:46:23	18	6:47:23	18	7:53:50	18	9:01:54	18	10:12:47	16	11:25:03											
		総合	8	11:16:48	清水 健司 4	梅津 毅 3	酒井 将規 3	久保 芳斗 1	吉野 将悟 3	赤木 翼 3	西村 知修 1	大脇 佑介 4	小田 謙徳 4	田部 貴之 4	往路	12	5:40:34	6	1:04:43	17	1:11:14	15	1:05:46	14	56:54	8	1:21:57	7	1:00:38	3	1:04:46	11	1:07:28	11	1:12:07	5	1:11:15
		復路	5	5:36:14			15	2:15:57	15	3:21:43			16	4:18:37	12	5:40:34	11	6:41:12	8	7:45:58	8	8:53:26	10	10:05:33	8	11:16:48											
2003	80	総合	20	11:28:21	西村 知修 2	梅津 毅 4	赤木 翼 4	馬場 圭太 4	酒井 将規 4	板垣 辰矢 3	河野 健一 3	佐藤 健 3	前川 剛己 4	渡邊 克則 1	往路	10	5:39:17	7	1:05:05	9	1:10:07	10	1:04:50	2	55:12	20	1:24:03	2	59:23	10	1:06:17	20	1:08:59	22	1:15:57	22	1:18:28
		復路	22	5:49:04			11	2:15:12	12	3:20:02			5	4:15:14	10	5:39:17	8	6:38:40	8	7:44:57	8	8:53:56	14	10:09:53	20	11:28:21											
		総合	11	11:24:52	大沼 睦 3	中村 亮太 3	西村 知修 3	安藤 慎治 3	土久岡陽祐 3	板垣 辰矢 4	渡邊 克則 2	稲葉 智之 2	河野 健一 4	佐藤 健 4	往路	15	5:44:48	19	1:05:23	11	1:10:00	15	1:05:38	17	59:30	12	1:24:17	4	1:00:23	16	1:07:10	13	1:08:24	3	1:11:12	5	1:12:55
2004	81	復路	6	5:40:04			16	2:15:23	15	3:21:01			15	4:20:31	15	5:44:48	13	6:45:11	13	7:52:21	14	9:00:45	12	10:11:57	11	11:24:52											
		総合	13	11:14:21	大沼 睦 4	中村 亮太 4	難波 幸貴 1	西村 知修 4	土久岡陽祐 4	田村 拓真 1	渡邊 克則 3	姥名 聡勝 1	安藤 慎治 4	杉山 功 4	往路	12	5:36:29	11	1:04:29	9	1:08:22	18	1:05:52	1	54:34	16	1:23:12	10	1:00:39	9	1:05:24	9	1:07:12	9	1:11:12	16	1:13:25
		復路	11	5:37:52			9	2:12:51	15	3:18:43			8	4:13:17	12	5:36:29	10	6:37:08	10	7:42:32	9	8:49:44	9	10:00:56	13	11:14:21											
2005	82	総合	13	11:18:58	神田 純也 4	田中 健人 2	大迫 聖晃 3	難波 幸貴 2	小山 司 2	田村 拓真 2	三輪龍之介 3	山川 雄大 3	渡邊 克則 4	稲葉 智之 4	往路	17	5:41:54	19	1:04:54	19	1:11:14	19	1:05:17	15	57:30	12	1:22:59	16	1:01:07	13	1:05:32	5	1:05:56	3	1:10:57	16	1:13:32
		復路	8	5:37:04			19	2:16:08	20	3:21:25			18	4:18:55	17	5:41:54	18	6:43:01	17	7:48:33	16	8:54:29	13	10:05:26	13	11:18:58											
		総合	4	11:21:39	田中 健人 3	姥名 聡勝 3	高橋 裕太 1	早川 昇平 2	小山 司 3	千葉 一慶 3	難波 幸貴 3	猪狩 大樹 3	山川 雄大 4	熊崎 健人 2	往路	7	5:46:27	14	1:05:24	8	1:11:28	8	1:07:30	2	57:56	5	1:24:09	3	59:07	6	1:05:44	3	1:07:11	8	1:11:48	3	1:11:22
2006	83	復路	3	5:35:12			15	2:16:52	12	3:24:22			6	4:22:18	7	5:46:27	7	6:45:34	6	7:51:18	5	8:58:29	5	10:10:17	4	11:21:39											
		総合	8	11:13:03	柳原 貴大 3	小山 司 4	難波 幸貴 4	早川 昇平 3	竹本 紘希 2	千葉 一慶 4	姥名 聡勝 4	猪狩 大樹 4	熊崎 健人 3	杉山 連哉 3	往路	12	5:39:23	15	1:04:02	12	1:11:10	12	1:05:24	4	55:23	14	1:23:24	13	1:01:03	4	1:04:18	12	1:06:51	8	1:10:36	3	1:10:52
		復路	5	5:33:40			16	2:15:12	14	3:20:36			11	4:15:59	12	5:39:23	12	6:40:26	12	7:44:44	12	8:51:35	10	10:02:11	8	11:13:03											
2007	84	総合	11	11:13:30	早川 昇平 4	柳原 貴大 4	杉山 連哉 4	野村 雄一 3	竹本 紘希 3	君島 亮太 3	内田 直斗 2	阿南 堅也 3	高橋 裕太 3	堤 悠生 3	往路	16	5:39:18	15	1:03:44	16	1:11:02	7	1:03:41	19	58:17	13	1:22:34	18	1:01:34	10	1:05:06	14	1:07:15	6	1:09:50	4	1:10:27
		復路	9	5:34:12			16	2:14:46	13	3:18:27			16	4:16:44	16	5:39:18	15	6:40:52	15	7:45:58	14	8:53:13	13	10:03:03	11	11:13:30											
		総合	10	11:15:21	堤 悠生 4	高橋 裕太 4	畔上 和弥 1	瀬戸口文弥 3	加藤 勇也 3	原 由樹人 4	内田 直斗 3	山崎 涉 4	岩間 俊友 4	島口翔太郎 3	往路	9	5:36:36	8	1:02:31	8	1:08:43	11	1:05:06	13	57:16	10	1:23:00	12	1:01:08	9	1:05:27	10	1:06:40	14	1:13:17	10	1:12:13
2008	85	復路	11	5:38:45			5	2:11:14	6	3:16:20			11	4:13:36	9	5:36:36	11	6:37:44	11	7:43:11	10	8:49:51	10	10:03:08	10	11:15:21											

帝京大学歴代記録 全日本大学駅伝

年度	回	チーム成績	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区			
1997	29	不出場											
1998	30	不出場											
1999	31	不出場											
2000	32	不出場											
1	2001	33	総合	10	5:21:42	飛松 誠 3	中崎 幸伸 4	清野 祥啓 2	北島 吉章 4	戸村 将幸 1	村野 真一 3	秋山 新吾 2	谷川 嘉朗 4
						13 44:28	4 38:35	11 28:35	9 41:44	14 36:24	9 36:43	10 36:03	7 59:10
							7 1:23:03	9 1:51:38	9 2:33:22	11 3:09:46	11 3:46:29	11 4:22:32	10 5:21:42
2	2002	34	総合	15	5:33:24	中尾 勇生 1	斎藤 昌宏 3	中尾 誠宏 1	戸村 将幸 2	光本 健吾 4	井上 泰加彦 2	東山 毅 2	小鹿 敬司 4
						23 45:42	17 41:00	14 29:45	15 43:58	11 36:36	14 38:41	13 37:06	12 1:00:36
							21 1:26:42	18 1:56:27	18 2:40:25	15 3:17:01	15 3:55:42	15 4:32:48	15 5:33:24
2003	35	不出場											
2004	36	不出場											
2005	37	不出場											
2006	38	不出場											
2007	39	不出場											
3	2008	40	総合	13	5:27:16	梅津 毅 4	西村 知修 2	大沼 睦 2	中村 亮太 2	馬場 圭太 4	岡田 洋輔 4	酒井 将規 4	土久岡 陽祐 2
						12 44:44	11 39:47	14 28:39	12 42:58	9 35:25	10 37:47	2 35:42	15 1:02:14
							13 1:24:31	13 1:53:10	13 2:36:08	13 3:11:33	13 3:49:20	12 4:25:02	13 5:27:16
2009	41	不出場											
4	2010	42	総合	10	5:22:04	大沼 睦 4	中村 亮太 4	難波 幸貴 1	安藤 慎治 4	土久岡 陽祐 4	香川 竜一 3	渡邊 克則 3	稲葉 智之 3
						7 43:18	7 38:29	9 28:17	8 41:31	6 35:01	15 38:01	3 35:49	13 1:01:38
							7 1:21:47	6 1:50:04	5 2:31:35	6 3:06:36	7 3:44:37	7 4:20:26	10 5:22:04
5	2011	43	総合	11	5:31:32	難波 幸貴 2	蛭名 聡勝 2	早川 昇平 1	神田 純也 4	小山 司 2	三田 和矢 1	稲葉 智之 4	渡邊 克則 4
						20 46:33	9 39:29	10 28:47	9 43:19	8 35:33	9 38:06	9 37:10	9 1:02:35
							16 1:26:02	13 1:54:49	13 2:38:08	12 3:13:41	12 3:51:47	12 4:28:57	11 5:31:32
6	2012	44	総合	11	5:23:40	山川 雄大 4	蛭名 聡勝 3	熊崎 健人 2	早川 昇平 2	高橋 裕太 1	千葉 一慶 3	三田 和矢 2	小山 司 3
						16 44:48	6 38:33	6 27:48	11 42:37	10 35:41	13 37:44	8 35:57	10 1:00:32
							11 1:23:21	10 1:51:09	11 2:33:46	11 3:09:27	11 3:47:11	11 4:23:08	11 5:23:40
7	2013	45	総合	13	5:30:02	高橋 裕太 2	小山 司 4	柳原 貴大 3	難波 幸貴 4	君島 亮太 2	杉山 連哉 3	高橋 勝哉 3	竹本 紘希 2
						18 45:49	19 41:23	9 28:18	10 42:12	15 36:16	12 37:31	16 37:30	12 1:01:03
							18 1:27:12	16 1:55:30	15 2:37:42	15 3:13:58	14 3:51:29	14 4:28:59	13 5:30:02
2014	46	不出場											
8	2015	47	総合	14	5:24:33	高橋 裕太 4	君島 亮太 4	竹下 凱 1	畔上 和弥 1	堤 悠生 4	瀬戸口 文弥 3	大塚 瑞季 1	山崎 渉 4
						5 43:20	22 40:23	12 28:04	12 42:06	7 34:54	15 37:28	17 37:08	13 1:01:10
							15 1:23:43	14 1:51:47	13 2:33:53	11 3:08:47	13 3:46:15	14 4:23:23	14 5:24:33
9	2016	48	総合	10	5:22:30	竹下 凱 2	内田 直斗 4	岩佐 孝誠 1	畔上 和弥 2	宇佐美 聖也 4	島口 翔太郎 4	佐藤 諒太 3	平田 幸四郎 1
						12 44:20	9 39:06	13 28:31	9 42:03	6 35:30	13 36:59	2 34:55	14 1:01:06
							11 1:23:26	11 1:51:57	10 2:34:00	9 3:09:30	10 3:46:29	10 4:21:24	10 5:22:30
10	2017	49	総合	8	5:19:39	岩佐 孝誠 2	竹下 凱 3	濱川 駿 3	佐藤 諒太 4	畔上 和弥 3	島貫 温太 2	横井 裕仁 3	小森 稜太 2
						13 45:07	11 39:30	14 28:31	9 40:57	3 34:26	7 36:23	6 35:09	10 59:36
							11 1:24:37	12 1:53:08	12 2:34:05	10 3:08:31	9 3:44:54	8 4:20:03	8 5:19:39
11	2018	50	総合	5	5:18:34	竹下 凱 4	横井 裕仁 4	岩佐 孝誠 3	遠藤 大地 1	小森 稜太 3	谷村 龍生 2	畔上 和弥 4	平田 幸四郎 3
						2 27:28	8 32:38	7 34:58	3 34:38	4 36:38	9 38:40	7 53:17	14 1:00:17
							4 1:00:06	3 1:35:04	3 2:09:42	3 2:46:20	3 3:25:00	4 4:18:17	5 5:18:34

(個人成績の見方: 上段=個人記録 下段=チーム合計記録 氏名の後ろの数字は学年)

帝京大学歴代記録 主な国内大会

関東インカレ

順位	年度	回	氏名	種目	タイム	順位
1	2012	91	早川 昇平 2	5000m	14:18.00	8
2			蛭名 聡勝 3	10000m	29:08.25	5
3			大迫 聖晃 4	3000mSC	9:06.92	7
4			山川 雄大 4	ハーフマラソン	1:06:18	7
5	2013	92	熊崎 健人 3	1500m	3:53.69	3
6			猪狩 大樹 4	3000mSC	8:49.93	2
7			長谷川 瑞貴 4	3000mSC	9:00.63	8
8			堤 悠生 2	ハーフマラソン	1:06:25	5
9	2014	93	熊崎 健人 4	1500m	3:52.35	3
10			瀬戸口 文弥 2	3000mSC	9:07.43	7
11	2015	94	砂賀 正輝 1	3000mSC	8:58.62	5
12	2016	95	畔上 和弥 2	ハーフマラソン	1:05:40	7
13	2017	96	田村 文哉 2	3000mSC	9:02.60	2
14			畔上 和弥 3	ハーフマラソン	1:04:53	4
15	2018	97	齋藤 慎 4	1500m	3:52.74	6
16			畔上 和弥 4	ハーフマラソン	1:03:49	2
17			横井 裕仁 4	ハーフマラソン	1:04:06	3
18	2019	98	寺島 溪一 2	1500m	3:52.08	5
19			平田 幸四郎 4	10000m	29:23.73	7
20			田村 文哉 4	3000mSC	9:04.77	2
21			境 勇樹 3	3000mSC	9:09.21	6

日本インカレ

順位	年度	回	氏名	種目	タイム	順位
1	2012	81	大迫 聖晃 4	3000mSC	8:51.92	3
2	2013	82	猪狩 大樹 4	3000mSC	9:00.57	3
3			長谷川 瑞貴 4	3000mSC	9:03.11	4
4	2017	86	田村 文哉 2	3000mSC	8:57.09	5
5	2018	87	横井 裕仁 4	10000m	30:00.71	6

帝京大学歴代記録 国際大会

ユニバーシアード

順位	年度	回	氏名	種目	タイム	順位
1	2013	27	蛭名 聡勝 4	ハーフマラソン	1:05:39	8
2	2015	28	高橋 裕太 4	ハーフマラソン	1:05:29	3

ニューカレドニア国際マラソン

順位	年度	回	氏名	種目	タイム	順位
1	2012	30	山川 雄大 4	ハーフマラソン	1:07:17	1
2			蛭名 聡勝 3	ハーフマラソン	1:08:02	2

世界大学クロスカントリー選手権大会

順位	年度	回	氏名	種目	タイム	順位
1	2015	20	竹下 凱 1	男子 10.7km	35:01	20

帝京大学歴代記録 出雲駅伝

年度	回	チーム成績	1区	2区	3区	4区	5区	6区							
1997	9	不出場													
1998	10	不出場													
1999	11	不出場													
1	2000	12	総合	7	2:07:26	喜多 健一 4	北島 吉章 3	飛松 誠 2	佐藤 光輝 1	谷川 嘉朗 3	中崎 幸伸 3				
						11	20:40	3	17:14	10	16:43	8	16:55	4	21:30
2	2001	13	総合	10	2:14:26	秋山 新吾 2	中崎 幸伸 4	北島 吉章 4	清野 祥啓 2	飛松 誠 3	谷川 嘉朗 4				
						14	25:08	9	17:15	10	26:35	10	19:21	6	14:47
3	2002	14	総合	12	2:15:20	佐藤 拓也 1	中尾 勇生 1	飛松 誠 4	小鹿 敬司 4	中尾 誠宏 1	村野 真一 4				
						20	25:31	5	17:09	9	25:54	11	19:28	11	15:46
2003	15	不出場													
2004	16	不出場													
2005	17	不出場													
2006	18	不出場													
2007	19	不出場													
4	2008	20	総合	9	2:12:08	馬場 圭太 4	西村 知修 2	佐藤 辰準 2	大沼 睦 2	佐藤 健 3	中村 亮太 2				
						8	23:47	4	16:50	14	26:31	6	18:58	7	15:08
2009	21	不出場													
2010	22	不出場													
2011	23	不出場													
2012	24	不出場													
5	2013	25	総合	12	2:16:07	熊崎 健人 3	難波 幸貴 4	小山 司 4	柳原 貴大 3	高橋 裕太 2	早川 昇平 3				
						16	25:05	14	17:42	13	24:11	10	18:41	9	19:06
6	2014	26	総合	10	2:15:52	15	42:47	14	1:06:58	12	1:25:39	12	1:44:45	12	2:16:07
						悪天候により中止									
2015	27	不出場													
7	2016	28	総合	10	2:15:52	内田 直斗 4	岩佐 春誠 1	畔上 和弥 2	宇佐美 聖也 4	新関 友基 2	佐藤 諒太 3				
						6	23:36	8	17:33	11	26:08	8	18:07	10	18:43
8	2017	29	総合	5	2:15:02	8	41:09	10	1:07:17	10	1:25:24	10	1:44:07	10	2:15:52
						不出場									
8	2018	30	総合	5	2:15:02	遠藤 大地 1	横井 裕仁 4	岩佐 春誠 3	谷村 龍生 2	星 岳 2	島貫 温太 3				
						11	24:00	5	16:51	7	25:48	5	18:12	6	19:09
						7	40:51	8	1:06:39	5	1:24:51	5	1:44:00	5	2:15:02

(個人成績の見方：上段=個人記録 下段=チーム合計記録 氏名の後ろの数字は学年)

帝京大学 歴代50傑

5000m 歴代50傑						は現役部員
順位	名前	タイム	大会名	場所	日付	
1	柳原 貴大	13:50.45	第239回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2014/9/28	
2	熊崎 健人	13:52.44	第236回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2014/4/13	
3	北島 吉章	13:53.57	延岡記録会	西階陸上競技場	2000/5/3	
4	戸村 将幸	13:54.70	第152回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2003/9/23	
5	西村 知修	13:55.00	第193回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2008/4/19	
6	安藤 慎治	13:55.47	第89回関東学生陸上競技対校選手権大会	国立霞ヶ丘競技場	2010/5/23	
7	中崎 幸伸	13:56.04	春季延岡記録会	西階陸上競技場	2000/4/29	
8	谷川 嘉朗	13:57.34	春季延岡記録会	西階陸上競技場	2000/4/29	
9	中村 亮太	13:57.36	第207回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2010/5/2	
10	清水 健司	13:59.28	第185回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2007/4/15	
11	遠藤 大地	13:59.85	第3回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2018/9/29	
12	横井 裕仁	14:00.18	第3回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2018/9/29	
13	岩佐 杏誠	14:00.42	第1回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2019/4/6	
14	久保 芳斗	14:02.26	第119回東海大学長距離記録会	東海大学湘南校舎陸上競技場	2009/4/18	
15	井上 泰加彦	14:03.10	第152回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2003/9/23	
16	難波 幸貴	14:03.47	第219回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2011/10/30	
17	竹下 凱	14:03.89	第3回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2016/7/9	
18	星 岳	14:04.23	第37回法政大学競技会	法政大学多摩校地陸上競技場	2019/5/5	
19	小野寺 悠	14:04.61	出雲市陸協長距離記録会	浜山運動公園陸上競技場	2018/10/8	
20	蛭名 聡勝	14:05.45	第219回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2011/10/30	
21	中尾 誠宏	14:05.67	第158回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2004/4/29	
22	佐藤 拓也	14:05.87	第158回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2004/4/29	
23	島貫 温太	14:06.19	第262回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2018/4/23	
23	中尾 勇生	14:06.19	第82回関東学生陸上競技対校選手権大会	横浜国際総合競技場	2003/5/18	
25	高橋 裕太	14:06.77	第243回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2015/4/26	
26	大脇 佑介	14:07.25	第186回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2007/4/30	
27	早川 昇平	14:07.40	第222回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2012/4/15	
28	馬場 圭太	14:07.58	第197回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2008/9/28	
29	谷村 龍生	14:08.08	第3回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2018/9/29	
30	佐藤 辰準	14:08.36	第197回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2008/9/28	
31	酒井 将規	14:08.46	第186回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2007/4/30	
32	新関 友基	14:08.48	第4回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2016/10/1	
33	飛松 誠	14:08.80	第68回中央大学長距離記録会	中央大学陸上競技場	2002/10/6	
34	大沼 陸	14:09.96	第209回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2010/6/13	
35	安生 充宏	14:10.40	第104回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	1998/4/26	
36	小田 浩数	14:10.48	春季延岡記録会	西階陸上競技場	2000/4/29	
37	畔上 和弥	14:11.06	第4回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2016/10/1	
38	濱川 駿	14:11.21	出雲市陸協長距離記録会	浜山運動公園陸上競技場	2016/10/10	
39	杉山 連哉	14:11.55	第1回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2014/4/5	
40	佐藤 諒太	14:12.09	第4回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2016/10/1	
41	増田 空	14:12.81	第37回法政大学競技会	法政大学多摩校地陸上競技場	2019/5/5	
42	内田 直斗	14:13.30	第4回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2016/10/1	
43	赤木 翼	14:13.77	第5回国士舘大学記録会	国士舘大学多摩陸上競技場	2008/3/27	
44	猪狩 大樹	14:13.89	第233回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2013/10/27	
45	宇佐美 聖也	14:13.96	第4回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2016/10/1	
46	香川 竜一	14:14.16	第214回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2011/4/17	
47	小山 司	14:14.23	第6回国士舘大学競技会	国士舘大学多摩陸上競技場	2013/10/6	
48	阿部 有希	14:14.28	第267回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2018/11/11	
49	祝田 守	14:14.34	第178回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2006/4/29	
50	加藤 勇也	14:14.45	第8回法政大学競技会	法政大学多摩校地陸上競技場	2015/5/6	

10000m 歴代50傑						は現役部員
順位	名前	タイム	大会名	場所	日付	
1	島貫 温太	28:30.52	10000m記録挑戦競技会	慶應義塾大学日吉陸上競技場	2018/11/24	
2	横井 裕仁	28:32.30	10000m記録挑戦競技会	慶應義塾大学日吉陸上競技場	2018/11/24	
3	遠藤 大地	28:34.88	10000m記録挑戦競技会	慶應義塾大学日吉陸上競技場	2018/11/24	
4	高橋 裕太	28:37.20	10000m記録挑戦競技会	慶應義塾大学日吉陸上競技場	2015/11/21	
5	熊崎 健人	28:40.20	10000m記録挑戦競技会	国立競技場	2013/11/23	
6	中崎 幸伸	28:40.77	鴻巣ナイター陸上	鴻巣市立陸上競技場	2000/9/30	
7	畔上 和弥	28:41.68	10000m記録挑戦競技会	慶應義塾大学日吉陸上競技場	2017/11/29	
8	蛭名 聡勝	28:42.90	10000m記録挑戦競技会	国立競技場	2012/11/24	
9	田中 健人	28:45.03	10000m記録挑戦競技会	国立競技場	2012/11/24	
10	小山 司	28:45.24	10000m記録挑戦競技会	国立競技場	2013/11/23	
11	谷川 嘉朗	28:45.43	鴻巣ナイター陸上	鴻巣市立陸上競技場	2000/9/30	
12	戸村 将幸	28:49.04	鴻巣ナイター陸上	鴻巣市立陸上競技場	2003/9/27	
13	中村 亮太	28:49.20	第206回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2010/4/17	
14	柳原 貴大	28:50.33	10000m記録挑戦競技会	国立競技場	2013/11/23	
15	北島 吉章	28:55.79	第32回全日本大学駅伝予選会	鴻巣市立陸上競技場	2000/6/10	
16	杉山 連哉	29:06.61	第62回兵庫リレーカーニバルアシックスチャレンジ	ユニバー記念競技場	2014/4/19	
17	安藤 慎治	29:08.41	第207回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2010/5/1	
18	平田 幸四郎	29:09.32	第269回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2019/4/20	
19	竹下 凱	29:09.66	10000m記録挑戦競技会	慶應義塾大学日吉陸上競技場	2017/11/29	
20	岩佐 杏誠	29:11.41	10000m記録挑戦競技会	慶應義塾大学日吉陸上競技場	2017/11/29	
21	清水 健司	29:12.01	第191回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2007/12/2	
22	星 岳	29:12.09	第262回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2018/4/21	
23	難波 幸貴	29:12.10	10000m記録挑戦競技会	国立競技場	2012/11/24	
24	堤 悠生	29:12.54	第243回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2015/4/25	
25	早川 昇平	29:12.80	10000m記録挑戦競技会	国立競技場	2012/11/24	
26	喜多 健一	29:12.97	鴻巣ナイター陸上	鴻巣市立陸上競技場	2000/9/30	
27	中村 風馬	29:13.58	第269回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2019/4/20	
28	小野寺 悠	29:14.22	10000m記録挑戦競技会	慶應義塾大学日吉陸上競技場	2018/11/24	
29	酒井 将規	29:15.27	第186回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2007/4/29	
30	佐藤 諒太	29:15.37	秩父宮賜杯第49回全日本大学駅伝対校選手権大会 関東学生陸上競技連盟推薦校選考会	浦和駒場スタジアム	2017/6/18	
31	馬場 圭太	29:15.75	10000m記録挑戦競技会	国立霞ヶ丘競技場	2006/11/25	
32	吉野 貴大	29:17.30	10000m記録挑戦競技会	慶應義塾大学日吉陸上競技場	2017/11/29	
32	飛松 誠	29:17.30	第139回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2002/5/3	
34	猪狩 大樹	29:17.58	10000m記録挑戦競技会	国立競技場	2013/11/23	
35	高橋 勝哉	29:18.27	第237回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2014/4/26	
36	小森 稜太	29:18.08	第1回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2019/4/6	
37	内田 直斗	29:19.48	The 2nd Juntendo Distance	順天堂大学さくらキャンパス陸上競技場	2016/11/19	
38	竹本 紘希	29:19.89	第241回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2014/11/15	
39	久保 芳斗	29:20.37	第40回全日本大学駅伝予選会	代々木公園陸上競技場	2008/6/22	
40	君島 亮太	29:21.45	第241回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2014/11/15	
41	佐藤 拓也	29:22.08	鴻巣ナイター陸上	鴻巣市立陸上競技場	2003/9/27	
42	山川 雄大	29:22.33	第222回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2012/4/14	
43	加藤 勇也	29:23.84	第243回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2015/4/25	
44	西村 知修	29:23.87	10000m記録挑戦競技会	国立霞ヶ丘競技場	2009/11/28	
45	梅津 毅	29:24.90	第186回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2007/4/29	
46	桑山 和久	29:25.40	第104回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	1998/4/26	
47	菅野 利哉	29:25.90	第112回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	1998/12/6	
48	平 敏治	29:27.30	第82回関東学生陸上競技対校選手権大会	横浜国際総合競技場	2003/5/16	
49	中尾 誠宏	29:28.64	鴻巣ナイター陸上	鴻巣市立陸上競技場	2003/9/27	
50	清野 祥啓	29:28.98	鴻巣ナイター陸上	鴻巣市立陸上競技場	2001/9/29	

最新の施設と設備で学生生活をバックアップ!

ACT Three



主体的な学習をサポートするために、グループ学習など多様な学習スタイルに対応したアクティブラーニング施設。ピアサポーター（先輩学生）による支援が行われている。

SORATIO KITCHEN



ソラティオスクエアに登場した都心まで展望できるお洒落で美味しいキャンパスレストラン。生涯の思い出になる憩いの場に。

キュリオシティホール



席数は1005席（1F 801席、2F 204席）を有し、小ホール1.5倍分の広さを誇る。

アリーナ



バスケットボールコート3面、バレーボールコート3面、バドミントンコート4面、ハンドボールコート1面を設置。観客席も備えている。

メディアライブラリーセンター



蔵書75万冊、1800席の快適な読書・学習空間。PCステーション、グループ学習室は、多くの学生がレポート作成やグループワークに活用。

ACT Two



Active Learning & Creative ToolBox、通称 ACTでは、グループ学習など多様な学習スタイルへの対応、マルチメディア設備の充実を図り、学生の主体的な学習をサポート。

少人数教室



教員と学生が一体感を持てるような授業展開ができる教室が、およそ90室設置されている。

帝京大学総合博物館



多摩地域の自然を写真や実物資料、映像を交えた常設展示コーナー、短期間で内容が変化する企画展示コーナーで、帝京大学の歴史を学べる。

小ホール



500名を収容できる大きな講堂。大学のイベントをはじめ、各種シンポジウムや講演会などでも使用。

キャリアサポートセンター



「就業力育成」「生涯サポート」「キャリアデザイン演習」による大学トップレベルのキャリア形成支援プログラムで学生一人ひとりのキャリア実現をサポート。

帝京大学駅伝競走部 イヤーブック 2019

2019年7月発行
編集：柴山 高宏 (threelight)
撮影：川本 聖哉・志賀 由佳
デザイン：村上一哉 (threelight)
発行：帝京大学本部 広報課
東京都板橋区加賀2-11-1



帝京大学 駅伝競走部 公式ホームページ

最新の試合結果やニュースをはじめ、部員紹介や動画まで、さまざまな情報をお伝えしていきます。

<https://www.teikyo-sports.jp/ekiden/>

帝京大学 駅伝競走部

帝京大学
TEIKYO
<http://www.teikyo-u.ac.jp/>

本誌掲載記事、写真等の無断複製・転載を禁じます。
©TEIKYO UNIVERSITY 2019

SORA RATIO 宙×理性 = 可能性

SORATIOとは...

果てしない天空、宇宙のように無限に広がる空間を表す「宙=SORA」とラテン語で「理性」を意味する「RATIO」を組み合わせた造語。帝京大学の学生一人ひとりの可能性が無限に広がっていく様を表現しています。また高層部・低層部からなる建物群をSQUARE（広場）として捉え、「SORATIO SQUARE（ソラティオ スクエア）」と名づけました。



キミの広がる無限の可能性

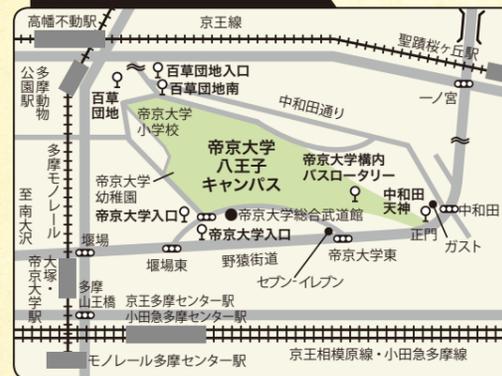
充実した学びの環境 SORATIO SQUARE

帝京大学八王子キャンパスのリニューアルで誕生した校舎棟 SORATIO SQUARE。免震構造の地上22階/地下2階建ての省エネにも配慮した校舎です。多摩丘陵の豊かな景観や地形と一体化したデザインは帝京大学の教育理念や伝統ある学問の積み重ねを表しています。

「自分流」で学べる10学部

医学部 医学科	外国語学部 外国語学科	薬学部 薬学科	教育学部 教育文化学科 初等教育学科	経済学部 経済学科 国際経済学科 地域経済学科 経営学科 観光経営学科	理工学部 機械・精密システム工学科 航空宇宙工学科 情報電子工学科 バイオサイエンス学科 情報科学科(通信教育課程)	法学部 法律学科 政治学科	医療技術学部 視能矯正学科 看護学科 診療放射線学科 臨床検査学科 スポーツ医療学科 柔道整復学科	福岡医療技術学部 理学療法学科 作業療法学科 看護学科 診療放射線学科 医療技術学科
------------	----------------	------------	--------------------------	--	---	---------------------	---	---

帝京大学 八王子キャンパス MAP



全国に広がる 5つのキャンパス

- 八王子キャンパス
- 板橋キャンパス
- 宇都宮キャンパス
- 福岡キャンパス
- 霞ヶ関キャンパス